

婦人労働調査資料第60号

女子労働者の就労状況の変化に関する調査

—結果報告書—

1969年6月

労働省婦人少年局

は し が き

婦人少年局では、新たに女子が進出している職種の内容を把握するために「女子労働者の就労状況の変化に関する調査」を実施したのでその結果をとりまとめ報告する。この調査では「女子の進出」の状況をとらえるにあたって、産業を製造業に限定して、事業所単位で従来男子が就いていた仕事を女子にかえた事実が最近3年間にあったかどうかという点にしぼり、男子から女子へのきりかえがおこなわれた仕事について内容等を具体的に調査した。

したがって、報告書においても実際に女子がどのような仕事を男子にかわってするようになったかを示す事例紹介の部分にかなりのスペースをさいた。

本調査の結果が女子の就労分野についての各方面のご理解を深めることに役立てば幸いである。最後に、調査にあたりご協力いただいた事業主各位にあつく感謝する次第である。

1970年6月

労働省婦人少年局

目 次

は し が き	
I 調査の概要	1
II 調査結果の概要	2
III 調査結果	4
1 女子労働者の増加	4
(1) 女子労働者数の増減	5
(2) 女子労働者の活用に対する事業所の態度	7
2 女子労働者の進出	8
(1) 新たに女子労働者を就けた仕事の有無	8
—最近3年間に男子から女子にきりかえた職種一覧表—	11
(2) 女子労働者にかえた理由	18
(3) 女子労働者にかえるための措置	21
(4) 今後女子労働者にかえる予定の有無	22
3 女子労働者が進出した仕事(事例編)	23
(1) 女子労働者の能力がいかされる仕事	24
(2) 機械化、作業内容の分化等により女子労働者が就いた仕事	42
(3) 男子の代替として女子労働者が就いた仕事	61
(4) そのほか女子労働者の就労が目新しい仕事	78

I 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、近年急速に増加している女子労働者の就労状況の変化を、職種については握し、行政の基礎資料とすることを目的とした。

2. 調査対象

- (1) 地 域 全国
- (2) 産 業 製造業
- (3) 事業所 30人以上の常用労働者を雇用する事業所のうち巻末の別表1の抽出率により無作為抽出された4514事業所。(母集団は41年の事業所統計調査による約45000事業所)

3. 調査事項

巻末の調査票のとおり。

4. 調査実施時期

昭和44年6月

5. 調査機関

労働省婦人少年局—都道府県婦人少年室

6. 調査方法

通信自計

7. 回収率

有効回収調査票3511(巻末の別表2)が得られ、有効回収率は78%であった。

8. 集計方法

事業所数は母集団にみあうように復元して集計した。

II 調査結果の概要

1. 女子労働者の活用方針

深刻な人手不足から女子労働者の活用がさかんであるが、今回調査対象となった30人以上規模の製造業事業所に女子労働者の活用方針を聞いたところ、半数をこえる53%の事業所が「単純、軽作業にはほとんど女子を活用する」と答えており、「教育訓練や昇進の機会を積極的に与えて女子の能力を活用する」と答えた事業所は17%であった。ほかには「昔から男女区別なく扱ってきたので特に考えていない」事業所が7%、「物理的に女子に無理な作業が大部分なので考えていない」事業所が15%、「女子には全然期待しない」事業所が3%という構成である。

2. 男子から女子へのきりかえ

これらの事業所で最近女子がどのような分野に進出しているかを具体的につかむのが本調査のねらみであったが、調査結果では全体の22%の事業所で、従来男子が就いていた仕事に最近女子を就労させるようになっている。男子から女子へのきりかえは大規模事業所ほど多く、500人以上では33%の事業所で女子へのきりかえがおこなわれている。

「教育訓練や昇進の機会を積極的に与えて能力を活用する」という事業所の中では25%が、「単純軽作業にはほとんど女子を活用する」という事業所では27%が、男子から女子へのきりかえをおこなっているが、「物理的に女子に無理な作業が大部分なので考えていない」事業所や「女子には全然期待しない」事業所では8ないし12%と少なくなっている。

事業所の全労働者中に占める女子の比率との関係でみると、女子の比率が16~29%の事業所で女子へのきりかえがもっとも多くおこなわれており、繊維など女子の割合が高い事業所では少なくなっている。

3. 女子の進出した職種

男子から女子へきりかえのおこなわれた仕事の内容をみると、490職種（労働省編「職業辞典」の代表職業名による分類）1915事例にわたっており、能力や熟練を要する職種から、ごく単純な作業までさまざまな職種があげられており、女子にきりかえた理由なども職種や事業所の実情に応じて千差万別である。

事例として多くあがってきたのは、プログラマー、各種事務員、旋盤工やボール盤工等金属切削工作の職種、プレス工や溶接工等金属加工の職種、自動車関係の組立工、機械部品仕上工、可塑物の成型工、製図工、写図工、試験工、分析工、塗装工等である。

男子から女子へきりかえたといっても全員女子にかわった事例は少なく、多くは男子の仕事の一部をわけて女子にやらせるようにしており、なかでも試験工、分析工の事例のうち78%、製図工写図工

の事例のうち68%がこのような作業の分化にともなって女子の進出がおこっている。

最近女子が能力的に向いていることがわかったために女子にかえたという事例はプログラマーを主とする専門的技術的職業、事務的職業、製図工写図工などの職種に多い。しかし、これらの職種については同時に作業内容の分化も理由のひとつになっている事例が多い。

技能工生産工程の職業の事例には女子が能力的に向いているという理由をあげたものは少なく、かわりに機械化により女子にできるようになった、男子の採用難から代替として、女子の方が賃金がやすいなどの理由をあげた事例が多い。ところがその中の溶接工、切断工の事例にかぎってみると、女子が能力的に向いているという理由をあげたものが比較的多くなっている。

事例の中で管理的職業に分類できる課長以上の役職を女子にかえた事例が2例、指導員、主任、係長などの役職の例が24例あがってきている。その他に女子の就労職種として目新しいと思われるものに次のような事例があげられる。

天井走行クレーンの運転、船内居住区のセメント舗装タイル張付作業（造船業）、新薬開発業務、自動ガス切断機による銅板切断、鉄構鋼材の組立および取付作業（車両造修業）、自動車完成時の検査、新製品のデザイン（アルミ製品加工業）、油圧30トンプレスによる絞り作業、圧延工、モノタイプ工。

事務系の仕事は1915事例中 303 例をしめて多くの職種に分類されたが、生産現場事務員や会計事務員の例が比較的多い。

1. 女子労働者の増加

製造業には約340万人(43年)の女子が就労しており、繊維工業では全労働者の約7割、食料品製造業では約5割が女子で占められている。これについて電気機器、精密機器製造業などでも女子への依存がたつとく、全労働者の4割近くが女子となっている。鉄鋼業や非鉄金属、金属製品、輸送用機器

表 1 規模別、産業別、女子労働者数別事業所の構成比 (%)

規模・産業	女子労働者数	計	300人以上	200~299人	100~199人	20~99人	20人未満
計		100.0	2.2	1.9	5.8	51.0	39.1
500人以上		100.0	45.0	12.4	19.8	22.4	0.4
100~499人		100.0	2.2	5.6	19.6	59.2	13.4
30~99人		100.0	—	—	—	49.4	50.6
食料品製造業		100.0	1.6	3.0	7.6	62.0	25.8
※たばこ製造業		100.0	6.0	5.1	12.0	73.1	3.8
繊維工業		100.0	1.7	2.1	5.2	84.8	6.2
衣服・その他の繊維製品製造業		100.0	0.1	0.5	1.7	49.0	48.7
木材・木製品製造業		100.0	0.4	—	2.9	49.3	47.4
家具・装備品製造業		100.0	0.2	1.2	3.2	53.9	41.5
パルプ・紙・紙加工品製造業		100.0	0.1	0.2	3.1	41.6	55.0
出版・印刷・同関連産業		100.0	2.3	1.5	4.8	38.3	53.1
化学工業		100.0	0.6	0.6	1.8	39.3	57.7
石油製品・石炭製品製造業		100.0	7.1	7.7	7.2	52.9	25.1
ゴム製品製造業		100.0	0.5	1.4	5.4	47.7	45.0
※皮革・同製品製造業		100.0	1.1	0.6	1.3	31.8	65.2
窯業、土石製品製造業		100.0	1.1	1.3	6.2	45.6	45.8
鉄鋼製造業		100.0	0.1	0.2	3.6	38.9	57.2
非鉄金属製品製造業		100.0	0.6	0.5	3.0	32.7	63.2
機械製造業		100.0	9.2	3.6	11.6	50.6	25.0
電気機械器具製造業		100.0	1.6	0.8	3.2	36.9	57.5
輸送用機械器具製造業		100.0	6.3	2.2	5.5	54.6	31.4
精密機械器具製造業		100.0	1.3	1.8	11.7	63.8	21.4
その他の製造業		100.0					

(注) ※はサンプル数が少ないので掲載しなかったが計にはこの数字がふくまれている。

このような一般的背景のもとに、男子にかわって女子がどのような仕事に進出しているか、最近の女子の就業分野のひろがりをも具体的に握るのがこの調査の主題であるが、その前提として本調査対象事業所における女子労働者数の増減をみると次のようである。

(1) 女子労働者数の増減

規模別にみると大規模事業所ほど女子の増加があり、500人以上では30%以上増加した事業所が27.1%、10～29%増加した事業所が22.2%とあわせて49.3%の事業所が10%以上の増加をみている。これに対して100～499人規模では43.8%の事業所が、30～99人規模では27.4%の事業所が10%以上の増加である。

一方女子労働者数が30%以上減少した事業所の割合は、500人以上では4.7%、100～499人では7.0%、30～99人では11.0%と規模が小さくなるにしたがって増加している。

表 2 産業別、女子の占める割合別事業所の構成比 (%)

女子の占める割合		計	15%以下	16~29%	30~49%	50~69%	70%以上
計		100.0	28.7	17.0	17.7	14.8	20.2
食料品製造業	※たばこ製造業	100.0	6.7	12.9	14.9	27.8	37.3
繊維工業		100.0	0.0	7.4	9.0	18.9	64.3
衣服・その他の繊維製品製造業		100.0	2.1	2.1	6.2	11.4	76.2
木材・木製品製造業		100.0	15.4	26.9	36.4	15.0	6.4
家具・装備品製造業		100.0	28.4	21.9	32.6	12.3	2.8
パルプ・紙・紙加工品製造業		100.0	20.6	26.9	10.2	22.1	17.4
出版・印刷・関連産業		100.0	26.9	28.9	26.2	11.2	2.7
化学工業		100.0	59.1	11.6	9.8	9.2	9.4
石油製品・石炭製品製造業		100.0	66.9	16.6	6.1	3.7	—
ゴム製品製造業		100.0	15.3	10.6	23.7	20.7	25.5
皮革・同製品製造業		100.0	29.1	14.1	30.6	20.3	3.4
窯業・土石製品製造業		100.0	69.3	20.8	4.8	0.8	0.7
鉄・金・鉄鋼製品製造業		100.0	44.8	23.7	18.7	8.0	1.7
金属製品製造業		100.0	37.6	26.2	27.7	7.4	—
機械製造業		100.0	70.7	16.0	9.3	2.6	0.0
電気機械器具製造業		100.0	14.8	17.8	15.4	23.6	25.6
輸送用機械器具製造業		100.0	57.5	20.6	12.0	3.2	2.2
精密機械器具製造業		100.0	22.4	19.2	29.6	17.4	10.5
その他の製造業		100.0	18.2	11.1	29.2	22.5	18.3

(注)表1に同じ。不明少数を掲載していないので計は必ずしも100%にならない。

女子労働者の増減は産業によってかなりことなり、食料品、繊維、紙、ゴム等の製造業では女子労働者の減少した事業所の方が多くなっているのに対して、窯業、鉄鋼業、非鉄金属、金属製品、機械製品、電気機械器具、輸送用機械器具、精密機械器具製造業など従来女子の少ない産業分野では女子の増加した事業所の方が圧倒的に多くなっている。増加量も30%以上増加した事業所が相当多く、機械製造業を例にとると30%以上増加が29.7%で、10~29%増加は7.6%となっており、あわせて37.3%の事業所が増加をみているのに対して減少した事業所は9.8%と少ない。(表3)

表3 規模別、産業別、女子労働者の増減別事業所の構成比 (%)

規模・産業	女子労働者の増減	計	30%以上増	10~30%増	10%未満の増減	10~30%の減	30%以上の減	不明
計		100.0	21.8	10.6	27.5	19.2	9.7	11.2
500人以上		100.0	27.1	22.2	27.2	18.1	4.7	0.7
100~499人		100.0	29.9	13.9	26.1	19.6	7.0	3.5
30~99人		100.0	18.6	8.8	27.9	19.1	11.0	14.6
食料品製造業		100.0	10.2	11.8	35.0	28.3	13.6	1.1
※たばこ製造業		100.0	8.6	3.8	32.3	33.2	17.8	4.3
繊維工業		100.0	17.1	14.6	35.2	19.1	14.0	—
衣服・その他の繊維製品製造業		100.0	22.8	9.7	17.6	22.9	12.5	14.5
木材・木製品製造業		100.0	32.3	15.4	20.9	11.5	9.5	10.4
家具・装備品製造業		100.0	8.1	12.8	34.5	23.2	13.0	8.4
パルプ・紙・紙加工品製造業		100.0	27.7	8.2	34.0	18.4	3.7	8.0
出版・印刷・同関連産業		100.0	20.0	12.9	28.9	17.1	8.3	12.8
化学工業		100.0	21.5	11.0	33.7	9.2	4.9	19.7
石油製品・石炭製品製造業		100.0	18.7	7.1	31.7	20.3	16.4	5.8
ゴム製品製造業		100.0	20.3	15.9	37.6	13.5	5.3	7.4
※皮革・同製品製造業		100.0	29.8	8.9	23.5	13.4	5.6	18.8
窯業・土石製品製造業		100.0	22.6	18.3	24.2	12.4	3.7	18.8
鉄鋼製造業		100.0	31.4	11.3	20.1	12.5	7.7	17.0
非鉄金属製造業		100.0	29.7	7.6	18.8	7.7	2.1	34.1
金属製品製造業		100.0	36.6	11.4	21.6	18.0	7.6	4.8
機械製造業		100.0	32.9	9.7	20.7	12.5	5.8	18.4
電気機械器具製造業		100.0	32.2	14.9	20.5	12.2	12.6	7.6
輸送用機械器具製造業		100.0	24.7	12.6	24.9	18.9	13.7	5.2
精密機械器具製造業		100.0						
その他の製造業		100.0						

(注) 表1に同じ。

表4 女子労働者数別、女子労働者の増減別事業所の構成比 (%)

女子労働者数	女子労働者の増減	計	30%以上増	10~30%増	10%未満の増減	10~30%の減	30%以上の減	不明
計		100.0	27.5	10.6	21.8	19.2	9.7	11.2
300人以上		100.0	25.2	19.8	21.8	27.0	6.1	0.1
200~299人		100.0	36.3	8.1	17.4	25.3	12.6	0.3
100~199人		100.0	25.6	17.1	24.4	24.2	7.1	1.6
20~99人		100.0	29.7	13.4	23.9	21.0	10.5	1.5
20人未満		100.0	24.4	5.7	19.0	15.3	9.1	26.5

(2) 女子労働者の活用に対する事業所の態度

女子労働者の活用については「単純、軽作業にはどんどん女子を活用する方針である」という事業所が52.7%を占めて最も多く、「教育訓練や昇進の機会を積極的に与えて女子の能力を活用する方針である」という事業所は16.5%である。また、「昔から男女区別なく扱ってきた……」という事業所が7.3%ある。

積極的に女子労働者の能力を活用すると答えた事業所の割合は500人以上の規模で25.7%と高く、産業別では衣服の46.7%、繊維工業の30.8%、電気機械器具の25.9%等で平均よりかなり高くなっている。これに対して金属製品の4.9%、鉄鋼業の5.4%、木材、木製品の5.7%、窯業の8.4%、石油製品の8.6%、輸送用機械器具製造業の9.3%等では低くなっている。

木材、木製品製造業では「単純作業には女子を活用する」という事業所が66%と平均より多く石油製品、輸送用機械器具、機械製造業、鉄鋼業、化学工業等では「物理的に女子に無理な作業が大部分なので考えていない」という事業所が30%前後を占めている。

表5 規模別、産業別、女子労働者の活用に対する態度別事業所の構成比 (%)

規模・産業	女子の活用に対する事業所の態度	計	教育訓練や昇進の機会を積極的に与えて能力を活用する	単純、軽作業にはどんどん女子を活用する	昔から男女区別なく扱ってきたので特に考えていない	物理的に女子に無理な作業が大部分なので考えていない	女子には全然期待しない	回答なし
計		100.0	16.5	52.7	7.3	15.2	3.2	5.1
500人以上		100.0	25.7	46.4	8.6	13.9	0.5	4.9
100~499人		100.0	16.5	52.7	7.1	14.3	1.9	7.5
30~99人		100.0	16.0	52.9	7.3	15.6	3.9	4.3
食料品製造業		100.0	19.3	58.0	3.6	8.5	4.7	5.9
※たばこ製造業		100.0	30.8	52.4	10.0	0.4	2.7	3.7
繊維工業		100.0	46.7	33.6	11.9	2.1	—	5.7
衣服・その他の繊維製品製造業		100.0	5.7	66.1	7.5	16.7	1.5	2.5
木材・木製品製造業		100.0	10.5	59.9	8.6	12.3	1.9	6.8
家具・装備品製造業		100.0	13.7	56.5	4.1	14.0	5.1	6.6
パルプ・紙・紙加工品製造業		100.0	17.2	51.1	13.8	10.3	2.2	5.4
出版・印刷・同関連産業		100.0	16.6	36.0	7.8	25.9	8.8	4.9
化学工業		100.0	8.6	41.7	7.4	38.7	1.1	2.5
石油製品・石炭製品製造業		100.0	16.2	44.4	10.4	12.6	5.8	10.6
ゴム製品製造業		100.0	8.4	58.1	10.3	16.4	2.0	4.8
※皮革・同製品製造業		100.0	5.4	49.4	2.1	40.2	1.4	1.5
窯業・土石製品製造業		100.0	13.6	56.2	4.9	15.6	4.8	4.9
鉄鋼製造業		100.0	4.9	61.7	5.6	21.4	1.3	5.1
非鉄金属製造業		100.0	11.4	45.1	4.2	31.7	4.3	3.3
金属製品製造業		100.0	25.9	52.2	9.0	5.7	1.8	5.4
機械製造業		100.0	9.3	47.4	4.1	26.4	4.0	8.8
電気機械器具製造業		100.0	14.3	54.0	15.1	6.5	4.2	5.9
輸送用機械器具製造業		100.0	15.2	57.3	7.4	8.6	2.1	9.4
精密機械器具製造業		100.0						
その他の製造業		100.0						

(注) 表1に同じ。

「女子には全然期待しない」事業所は製造業全体で3.2%あるにすぎないが、化学工業では8.8%を占めている。(表5)

2. 女子労働者の進出

(1) 新たに女子労働者を就けた仕事の有無

「貴事業所において従来男子が就いていた仕事で、この3年ぐらゐの間に女子を就けるようになった仕事がありますか」という質問に対して「ある」と答えたのは全体の22.2%の事業所である。この割合は大規模事業所ほど高く、500人以上で32.5%、100～499人規模で25.8%、30～99人規模で20.4%となっている。

「ある」と答えた22.2%の事業所のうち18.4%までが生産現場の仕事で女子の進出があり、事務部門

表6 規模別、産業別、男子から女子にきりかえた仕事の有無別事業所の構成比

規 模 ・ 産 業	計	最近3年間に男子から女子にきりかえた仕事					今後男子から女子にか える予定の仕事(注1)	
		あ り				な し	あ り	な し
		小 計	事務部 門のみ	生産現 場のみ	事務現場 ともに			
計	100.0	22.2	2.0	18.4	1.8	77.8	25.6	74.2
500人以上	100.0	32.5	3.5	24.5	4.5	67.5	35.5	63.8
100～499人	100.0	25.8	2.0	21.5	2.3	74.2	29.6	70.0
30～99人	100.0	20.4	1.9	17.0	1.5	79.6	23.7	76.2
食 料 品 製 造 業	100.0	16.4	0.4	15.6	0.4	83.6	29.0	71.0
※たばこ製造業	100.0	4.3	0.4	3.5	0.4	95.7	13.4	86.6
織 織 工 業	100.0	17.1	4.1	10.3	2.6	82.9	18.1	81.9
衣服・その他の繊維製品製造業	100.0	19.7	0.4	18.9	0.4	80.3	15.4	84.6
木 材・木 製 品 製 造 業	100.0	25.7	—	21.0	4.7	74.3	41.9	58.1
家具・装 備 品 製 造 業	100.0	11.2	1.7	6.8	2.8	88.8	15.6	84.4
パルプ・紙・紙加工品製造業	100.0	34.4	4.5	29.4	0.5	65.6	24.3	73.9
出版・印刷・関連産業	100.0	20.8	1.5	15.1	4.2	79.2	20.4	79.5
化 学 工 業	100.0	20.2	7.4	9.8	3.0	79.8	19.0	81.0
石油製品・石炭製品製造業	100.0	13.7	2.3	7.3	4.1	86.3	23.7	76.3
ゴム製品製造業	100.0	28.8	3.3	25.1	0.4	71.2	28.6	71.0
※皮革・同製品製造業	100.0	22.6	3.6	16.9	2.0	77.5	24.7	74.6
鉄 鋼 業	100.0	17.7	1.0	14.5	2.2	82.3	29.8	70.2
非鉄金属製造業	100.0	28.2	1.4	24.9	1.9	71.8	32.1	67.9
金属製品製造業	100.0	34.2	3.7	26.7	3.8	65.8	31.3	68.7
機 械 製 造 業	100.0	26.1	3.8	20.8	1.5	73.9	34.6	65.0
電気機械器具製造業	100.0	31.8	1.0	27.7	3.0	68.2	33.1	65.9
輸送用機械器具製造業	100.0	34.9	3.5	29.0	2.4	65.1	38.8	61.2
精密機械器具製造業	100.0	30.4	2.9	25.3	2.2	69.6	28.8	71.2
その他の製造業	100.0							

(注1) 回答なし少数を掲載していないので計は必ずしも100%にならない。

(注2) 表1に同じ。

の仕事には以前から女子が多く就労している関係もあって、男子から女子へのきりかえがあったのは2%と少ない。

男子から女子へのきりかえがあった事業所の割合は、家具・装備品、出版・印刷、窯業、金属製品、機械、電気機械器具、輸送用機械器具、精密機械器具製造業等で平均よりも高く、従来から女子の多い繊維工業等では当然のことながら低くなっている。(表6)

表7にみられるように、女子の就業分野の拡がった事業所では女子労働者数も増加しているところが多く、女子にきりかえた仕事「ある」と答えた事業所では、その40%が女子労働者数が3年前にくらべ30%以上の増加をみせている。これに対して、「ない」と答えた事業所では女子労働者の増加率が30%以上の事業所は16.6%とかなり少なくなっている。逆に女子労働者数が10%以上減少した事業所は、「ある」と回答した事業所の中では18.1%、「ない」と回答した事業所の中では31.8%と両者にかんがりの差がでている。(表7)

表7 男子から女子にきりかえた仕事の有無別、女子労働者数の増減別事業所の構成比

男子から女子に きりかえた仕事 の有無	女 子 労 働 者 数 の 増 減						
	計	30%以上増	10～30%増	10%未満の 増減	10～30%の減	30%以上の減	不 明
計	100.0	21.8	10.6	27.5	19.2	9.7	11.2
あ り	100.0	40.1	13.7	21.0	11.3	7.1	6.8
な し	100.0	16.6	9.8	29.3	21.4	10.4	12.5

また全従業員中女子の占める割合別にみると、女子が16～29%を占める事業所では30.6%の事業所で男子から女子へのきりかえが行なわれており、もっとも高率である。これに対して、女子が70%以上も占めている事業所ではきりかえのあった事業所は13.4%と低くなっている。(表8)

表8 女子の占める割合別、男子から女子にきりかえた仕事の有無別事業所の構成比

全労働者中に占める 女子の割合	計	最近3年間に男子から女子にきりかえた仕事				
		あ り				な し
		小 計	事務部 門のみ	生産現場のみ	事務現場 ともに	
15 % 以 下	100.0	22.0	3.0	16.1	2.9	78.0
16 ～ 29 %	100.0	30.6	2.1	26.7	1.8	69.4
30 ～ 49 %	100.0	26.2	0.6	24.5	1.1	73.8
50 ～ 69 %	100.0	21.2	0.5	18.7	2.0	78.8
70 % 以 上	100.0	13.4	1.9	10.5	1.0	86.6

さらに、女子の活用に対する態度と、男子から女子へのきりかえの有無をクロスしてみると(表9)「物理的に女子に無理な作業が大部分なので考えていない」や「女子には全然期待しない」と答えた事業所では男子から女子へのきりかえがあった事業所の割合は少なく1割前後である。これに対して女子の活用を考えている事業所では25%前後の事業所で男子から女子へのきりかえがおこなわれている。(表9)

表9 女子の活用に対する事業所の態度別、男子から女子にきりかえた仕事の有無別事業所の構成比

女子の活用に対する 事業所の態度	計	男子から女子にきりかえた仕事				(%)	
		男子から女子にきりかえる予定の仕事				あり	なし
		小計	事務部門のみ	生産現場のみ	事務・現場ともに		
教育訓練や昇進の機会を積極的に与えて、能力を活用する	100.0	24.7	3.5	17.6	3.6	75.3	62.6
単純、軽作業にはどんどん女子を活用する	100.0	26.9	1.6	23.4	1.9	73.1	69.5
昔から男女区別なく扱ってきたので特に考えていない	100.0	8.4	1.3	5.5	1.6	91.6	85.6
物理的に女子に無理な作業が大部分なので考えていない	100.0	7.8	2.0	5.6	0.2	92.2	98.5
女子には全然期待しない	100.0	11.6	—	11.0	0.7	88.4	90.5

男子から女子にきりかえた仕事の内容を記入してある事業所の実数（復元していない数）は972で1事業所平均2つの事例（最高は1事業所17事例）、総数で1915事例が得られた。（表10）回答のあった1915の仕事の内容を労働省編「職業辞典」の代表職業名により分類すると、490職種となる。

職種名を一欄表にすると次の(11頁)とおりである。表は、事務的職業、技能工・生産工程の職業、単純労働の職業、専門的技術的職業、管理的職業、前記以外の職業の順にまとめて掲載した。代表職業名のあとに事例数、代表職業名の属する職業小分類名、および職業中分類名を付した。

事例として多くあがってきたのは専門的技術的職業では35例中20例を占めるプログラマー、各種の事務員、旋盤工やボール盤工等金属切削工作の職種、プレス工や溶接工等の金属加工の職種、自動車関係の組立工、機械部品仕上工、可塑物の成型工、製図工、写図工、化学や金属等の試験工、分析工、塗装工等で

表10 産業別、男子から女子へきりかえた仕事の事例回答事業所数および事例数(実数)

産 業	回答事業所数	事例数	事例数/事業所数
計	972	1915	2.0
食 料 品 製 造 業	25	44	1.8
た ば こ 製 造 業	7	11	1.6
織 維 工 業	30	49	1.6
衣服・その他の繊維製品製造業	30	49	1.6
木 材 ・ 木 製 品 製 造 業	43	76	1.8
家具・装飾品製造業	43	76	1.8
パルプ・紙・紙加工品製造業	20	24	1.2
出版・印刷・同関連産業	31	50	1.6
化 学 工 業	94	165	1.8
石油製品・石炭製品製造業	94	165	1.8
ゴ ム ・ 製 品 製 造 業	17	33	1.9
皮 革 ・ 同 製 品 製 造 業	8	11	1.4
窯 業 ・ 土 石 製 品 製 造 業	58	109	1.9
鉄 鋼 製 造 業	308	656	2.1
非鉄金属製造業	308	656	2.1
金 属 製 品 製 造 業	308	656	2.1
機 械 製 造 業	102	231	2.3
電気機械器具製造業	102	231	2.3
輸送用機械器具製造業	109	251	2.3
精密機械器具製造業	73	132	1.8
その他の製造業	47	73	1.6

表11 職業別、産業別、男子から女子へきりかえた仕事の回答事例数(実数)

職 業	主な産業 ()内は回 答事業所数	木材、木製 品、家具、 装飾品製造 業	化学工業 石油製品 石炭製品 製造業	窯業、土石 製品製造業	鉄鋼業、非 鉄金属、金 属製品、機 械製造業	電気機械器 具製造業	輸送用機械 器具製造業	精密機械器 具製造業
	(43事業所)	(94事業所)	(58事業所)	(308事業所)	(102事業所)	(109事業所)	(73事業所)	
全 職 業 計	(36職種) 76例	(62職種) 165例	(65職種) 109例	(179職種) 656例	(97職種) 231例	(98職種) 251例	(81職種) 132例	
専門的技術的職業	1	2	5	16	2	5	0	
プログラマー	1	0	2	11	2	3	0	
事務的職業	6	44	18	103	35	38	13	
会 計 事 務 員	0	2	3	13	6	4	3	
専門的企画的事務員	1	1	1	3	7	5	3	
人事管理事務員	1	10	2	4	7	4	0	
出荷・受荷係事務員	0	6	2	7	2	3	3	
倉庫係事務員	0	3	1	11	0	3	0	
一般事務所事務員	2	13	4	13	4	10	1	
生産現場事務員	1	5	3	28	3	4	1	
技能工生産工程の職業	62	100	76	490	187	205	111	
旋 盤 工 等	0	0	2	120	41	47	31	
金 属 プ レ ス 工	2	0	0	23	16	20	5	
電 気 溶 接 工	1	0	1	20	10	29	0	
ガス溶接切断工	0	0	1	8	1	11	0	
製図工、写図工	0	1	4	18	7	9	1	
試験工、分析工	0	60	4	43	1	2	1	
単純労働の職業	2	15	7	33	1	2	2	
その他、分類不能	5	4	3	14	6	1	6	

(注) ゴジックは職業大分類、その他は中分類

ある。なかでも化学試験分析工は100例を数えている。

最近3年間に男子から女子にきりかえた職種一覧表

(注 小分類名の事例数には、代表職業名に分類できなかった事例等の数も含まれているので、計は必ずしも一致しない。)

1. 事務的職業 303例

代 表 職 業 名	事例数	小分類名	中分類名	代 表 職 業 名	事例数	小分類名	中分類名
予 算 係 員	1	他に分類されない	一般会計事務員	生産計画事務員	7	専門的企画的事務員	—
会計計理事務員	11	一般会計事務員	会計事務員	工程管理事務員	12	専門的企画的事務員	—
簿記事務員	2	一般会計事務員	会計事務員	規格係員	1	専門的企画的事務員	—
物品購入調達事務員	8	一般会計事務員	会計事務員	外注係事務員	2	専門的企画的事務員	—
原価計算係員	9	一般会計事務員	会計事務員	資材計画係事務員	5	専門的企画的事務員	—
その他の会計経理事務員	3	一般会計事務員	会計事務員	広報係事務員	5	専門的企画的事務員	—
記 帳 係 員	2	一般会計事務員	会計事務員	人事管理事務員	5	人事係事務員	—
吹 文 グ ラ イ プ ス ト	1	タイピスト	作業的事務員	勤怠記録員	1	人事係事務員	—
キ イ バ ン チ ャ ー	5	事務用機械員	作業的事務員	給与事務員	12	人事係事務員	—
機械計算係員	5	事務用機械員	作業的事務員	採用訓練事務員	1	人事係事務員	—
その他の事務用器具操作員	4	事務用機械員	作業的事務員	教育係事務員	2	人事係事務員	—

2 技能工、生産工程の職業 439例

(技能工生産工程の職業つづき)

代表職業名	事例数	小分類名	中分類名	代表職業名	事例数	小分類名	中分類名
バット溶接工	8	電気溶接工	金 属 加 工 の 職 業	蓄針検査工	1	金属製品検査工	36
スポット溶接工	30			溶接検査工	1		
シーム溶接工	1			製かん検査工	2		
自動電気溶接機運転工	12	61		金属検査工	10		
ガス切断工	6	ガス溶切 按断工		時計部品検査工	2		
大型バーナー工	2	22		その他の金属製品検査工	18		
自動ガス切断機運転工	5			けがき工	8	その職 業の 金属 加	
内業鉄工	1	製び かん工 ・打 工 ・鉄 工		はんた付工	6		
造船取付鉄工	2			鋳物修理工	1		
鋼板穴あけ工	1			金属粉製造工	1		
金わく仕上工	1			その他の金属加工工	5	21	557
その他の製かん工・鉄工・び う打工	3	8	電 気 機 械 器 具 組 立 修 理 の 職 業	通信機組立工	3	電気通信機組立工・修理工	19
板金工	1	ブリキ 板金工		ラジオテレビ組立工	2		
機械彫刻工	3	金属彫刻 工		密音機組立工	1		
電気めっき工	1	めっき工		通信機部品組立工	1		
浸せきめっき工	1			コイル巻線工	2		
金属防錆処理工	1			通信機調整工	5		
その他のめっき工	2	5		その他の電気通信機組立工・修理工	2		
金属手仕上工	7			電動機組立工	2	電気機械組立工・修理工	
金属やすり掛工	4			鉄心積工	1		
鋳物はつり工	1	手仕上工		バランス工	1		
小物部品仕上工	4		電 気 機 械 器 具 組 立 修 理 の 職 業	変圧器組立工	2		51
時計部品手仕上工	1			電器器具組立工	6		
工具手仕上工	2	19		電機部品仕上工	3		
金属パフみがき工	3	パフみが き工		コイル巻線工	2		
金網機械編工	3	針製造 金製品・ 針・ばね		コイル巻線工	4		
針金切断工	1			テープ機械巻工	1		
針研磨工	1			電機器調整工	1		
注射針製造工	1			電機修理工	1		
ばね製造工	1			電動機修理工	1		
その他の針金製品・針・ばね 造工	4	11		その他電気機械組立工・修理工	22		
帯のこ裁断工	1	金属切断工	金 属 製 品 製 造 工	排気工	1	電球・真 空管組立 工	2
薄板切断工	1			けい光灯部品製作工	1		
はく裁断工	2			電線紙巻工	1	被覆電線 製造工	
その他の金属切断工	5	10		電線編組工	2		
いばり取工	10	金属研磨工		ベレット厚さ測定工	1	半導体素 子製造工	
工具研磨工	8			乾電池組立工	2	蓄電器 製造工	
その他の金属研磨工	7	25		乾電池原料加工工	1		
金属家具工	10	金属製品 製造工		蓄電池組立工	1		
その他の金属製品製造工	13	25		通信機検査工	3		電 機 製 品 試 験 工
				電機製品試験工	2		

(技能工生産工程の職業つづき)

代表職業名	事例数	小分類名	中分類名	代表職業名	事例数	小分類名	中分類名
抵抗測定工	1	電気機械器具検査工	17	計器検査工	3	14	45
ブラウン管検査工	2			電気計器試験工	5		
電線検査工	2			機械組立仕上工	8		
電池検査工	1			機械部品仕上工	21		
電機器具検査工	1			機械材料整理工	2		
その他の電気機器測定検査工	5			農機組立工	8		
レントゲン装置組立工	3	その他の機械組立修理の職業	18	ミシン組立工	4	45	54
電器組付工	8			タイプライター組立工	1		
自動車ランプ組立工	1			機械運転調整工	1		
その他の電気機器組立工修理工	6			機械修理工	2		
自動車組立工	2	自動車の組立工		その他の機械修理作業工	1		
自動車部品組付工	5		37	繊維機器整備保全工	5	9	54
自動車部品組立工	16			金属機械検査工	1		
自動二輪車組立工	2			混打綿工	1		
自動車車体組付工	2			混打梳工	1		
その他の自動車・自動車部品製造工	10			精紡工	1		
その他の車両組立工修理工	1	その他の車両組立工修理工	2	ねん糸工	1	3	4
自動車車体検査工	1	輸送機械組立・修理の職業		乾燥工	3		
自動車部品検査工	6			生地染色工	1		
自動車仕上げ検査工	1			生色合せ工	3		
その他の輸送用機械組立工・修理工	4	その他の輸送用機械組立・修理の職業		メリヤス生地編立工	1	2	20
光学ガラス荒ざり工	1	調整工	7	くつ下かがり工	1		
レンズ素材研削工	2			製網工	1		
光学ガラス研削工	2			検査工	1		
レンズ精密仕上工	2			原毛洗工	1	5	15
写真機組立工	2	光学機械組立工		ヤール掛工	1		
眼鏡師	1		4	ブレス工	1		
光学機械分解洗浄工	1			紡績補助工	2		
電気計器組立工	11	計器組立工・修理の職業		夜具縫製工	1	1	1
電気計器試作工	1			衣服以外のミシン縫工	1		
ガス・水道メーター仕上工	2			布裁断工	3		
温度計製造工	1			機械裁断工	3		
度量衡器仕上工	4		20	アイロン掛工	6	13	10
物差製造工	1			縫製品検査工	1		
目盛工	1	その修理の職業		帯のこ木工	3		
ガラス目盛工	1	その他の計器組立工		縫製材手伝い	7		
光学ガラス彫刻工	1			合板のり付工	2	1	合
時計検査工	1		1	印刷紙はり工	1		
写真機検査工	1						

(技能工生産工程の職業つづき)

代表職業名	事例数	小分類名	中分類名	代表職業名	事例数	小分類名	中分類名				
合板切削仕上工	1	板	木・竹・草・つる製品製造の職業	校正係	1		ゴム可塑性製品製造の職業				
合板研磨工	1			印刷検査工	1	11		39			
合板補修工	2	工		7	ゴム押出成型工	2			ゴム製品成型工		
一般機械木工	4	切削木工		15	ゴム型付工	3				12	
一面取工	2			4	薄ゴム加硫工	1					27
穴あけ木工	4		1	タイヤ成型工	1		20				
木工フライス工	1		4	タイヤゴム張工	1			70			
その他の単純木工	4		15	ゴムホース成型工	1				11		
鋳物木型工	1	組立成型木工	10	ゴム服物成型工	2					4	
スキー製造工	5		11	射出成型工	16	可塑性製品					6
木製ケース組立工	1		3	可塑性プレス成型工	6		2				
くぎ打工	3		3	可塑性製板工	1			3			
家具・家具部品組付工	11	指物・家具職人	56	可塑性押出工	2				8		
その他の木材加工工	3	その他の木材加工工	3	可塑性切削機械工	1	可塑性製品加工工				20	
				可塑性細工工	2						7
紙サックマシーン工	1	紙製造工	バルブ・紙・紙製品製造の職業	ゴム製品検査工	2	ゴム製品検査工	11				
紙袋製造工	1	紙製容器		3	タイヤ検査工	1					
その他の紙器作業工	1			1	可塑性製品検査工	2			7		
紙手だち工	1	紙加工工		5	合成樹脂検査工	3				4	
紙機械だち工	1			1	ゴム裁断工	4		その他の製品製造の職業			1
製本裁断工	1		2	ゴムホース仕上工	1		1				
紙筒切工	2		3	その他のゴム製品作業工	3			1			
紙検査工	3	その他の紙製品製造工	3	可塑性裁断工	4				1		
				合成樹脂ライニング工	1					1	
				その他の可塑性製品作業工	5						1
文選工	3	植字工	印刷・製本の職業	くつ革裁断工	2	製靴工	7				
モノタイプ工	2			7	製甲工	1					
写真植字工	7	工		14	製ちすき工	1			1		
活字組立工	1			1	製甲ミシン縫工	1				1	
活版差換工	1			1	くつ底付工	1					1
写真製版工	1	製版工	2	くつ仕上工	1		1				
その他の印刷工	2	印刷工	7	革型入裁断工	1	革製品製造の職業		1			
平版紙差工	2		2	革型打抜工	1				1		
印刷補助工	3		3	皮革製品検査工	2					1	
製本とじ工	1	製本工	5	原料工	2	窯業原料工					4
中身仕上工	2		1	原石粗砕工	1		1				
表紙製造工	1		1	温度見工	1			1			
その他の製本作業工	1		1	ガラスプレス成型工	1	ガラス製品成型工			6		
写真修正工	4	その他の製本の職業	4	ガラス玉製造工	1					1	
印刷写真工	2		2	製びん工	1						1
張込工	2		2	光学ガラス網工	2		1				
ブロンジ機印刷工	1		1	ガラス冷却工	1			1			

(技能工生産工程の職業のつづき)

代表職業名	事例数	小分類名	中分類名	代表職業名	事例数	小分類名	中分類名
ガラス火切工	1	ガラス加工工	窯業、土石製造の職業	和生菓子製造補助工	1	和生菓子職	飲食料品製造の職業
ガラスカット工	1	ガラス加工工		和菓子製造補助工	1	和菓子職	
びん印刷工	1	びん加工工		キャンディー製造工	1	キャンディー職	
ゆう案掛工	1	施ゆう工		肉詰工	1	肉製品製造工	
れんが類切工	1	れんがかわら成型工		肉製品製造補助工	1	肉製品製造工	
れんが類プレス成型工	4	れんがかわら成型工		水産練物製造補助工	2	水産練物製造工	
れんが類製造補助工	1	れんがかわら成型工		しょう油製造工	1	しょう油製造工	
れんが類焼成工	2	れんがかわら焼成工		牛乳検査工	1	食料品検査工	
内こて造り工	1	陶磁器成型工		ビール検査工	1	食料品検査工	
機械仕上工	1	陶磁器成型工		絶業物料理人	1	その他の食品製造の職業	
プレス成型工	2	陶磁器成型工	窯業、土石製造の職業	混合かくはん工	1	化学工	化学製品製造の職業
流込成型工	1	陶磁器成型工		その他の化学反応工程工	1	化学工	
型入成型工	1	陶磁器成型工		石油精製工	4	石油精製工	
素地ねじ切工	1	陶磁器成型工		紡糸工	2	繊維工	
その他の陶磁器作業工	1	陶磁器成型工		後処理工	1	繊維工	
転写真給付工	1	窯業給付工		化繊製造補助工	1	繊維工	
陶磁器吹付工	1	窯業給付工		製錠工	2	医薬品製造工	
かま詰出工	3	陶磁器焼成工		滑沢剤添加工	1	医薬品製造工	
ブロック製造工	3	セメント製造工		医薬品秤量工	1	医薬品製造工	
セメントパイプ工	2	セメント製造工		医薬品仕上工	2	医薬品製造工	
セメントスレート工	1	セメント製造工	窯業、土石製造の職業	化粧品製造工	1	化粧工	建設の職業
石ころ型製造工	1	石灰製品製造工		混和工	1	火薬製造工	
機械研磨工	1	石工		火薬乾燥工	1	火薬製造工	
研磨材料製造工	1	研用業		練炭製造工	1	その学の製職	
研砂工	1	研用業		炭素製品成型工	1	その学の製職	
と石車プレス成型工	1	研用業		線香製造工	3	その学の製職	
と石車仕上工	2	研用業		築炉・かまれんが積立	1	れんが積立工	
ガラス製品検査工	2	窯業検査工		タイル張工	1	張工	
陶磁器検査工	1	窯業検査工		型わく大工	2	その他の建設の職業	
れんが類検査工	1	窯業検査工		汽かん士	1	汽かん士	
その他の鉱物土石加工工	1	その他の窯業、土石製品製造の職業	窯業、土石製造の職業	起重機運転工	2	起重機・搬送機運転工	建設の職業
パン・ビスケット成型工	1	パン・ビスケット工		現場記録事務員	12	生産記録工	
パン・ビスケット焼成工	2	パン・ビスケット工		製図工	11	製図工	
パン・ビスケット類製造補助工	5	パン・ビスケット工					
洋菓子製造職	1	洋生菓子職					
洋生菓子仕上工	3	洋生菓子職					

(技能工生産工程の職業のつづき)

代表職業名	事例数	小分類名	中分類名	代表職業名	事例数	小分類名	中分類名
機械製図工	3	製図工	技術補助工	吹付塗装工	4	塗装工	その他の技能工・生産工程の職業
機写図工	30	製図工		塗料調色工	1	塗装工	
化学試験分析工	100	試験工・分析工		その他の塗装工	1	塗装工	
金属材料試験工	17	試験工・分析工		塗装補助工	13	塗装工	
耐圧試験工	1	試験工・分析工		版下師	2	版工、番板工	
繊維試験工	1	試験工・分析工		写真焼付係	1	写真工	
人織試験工	1	試験工・分析工		ピアノ台組立工	1	楽器製造工	
その他の試験工	1	試験工・分析工		鍵盤仕上工	2	楽器製造工	
青写真工	1	その他の技術補助工		ピアノ張弦工	1	楽器製造工	
たばこ巻上工	4	たばこ製造工		ピアノアクション仕上工	1	楽器製造工	
スプリング組立工	1	内張職	技術補助工	管楽器製作工	1	楽器製造工	その他の技能工・生産工程の職業
いす張職	3	内張職		各種楽器製作作業工	1	楽器製造工	
はけ塗工	5			義肢製造工	2	義肢製造工	
塗装仕上工	1			運動具製造補助工	1	運動具製造補助工	
自動塗装機工	1						

3 単純労働の職業 88例

代表職業名	事例数	小分類名	中分類名	代表職業名	事例数	小分類名	中分類名
品等・仕分工	1	選別工	単純労働の職業	機械こん包工	5	荷造工	単純労働の職業
製品選別工	8	選別工		袋詰工	3	荷造工	
原料選別工	3	選別工		その他の単純荷造工	7	荷造工	
結東工	5			倉庫夫	2	倉庫夫	
機械包装工	5			運搬夫	6	仲仕、運搬夫	
包装箱詰工	2	包装工		配達人	1	配達人	
充てん工	3	ラベルはり工		機械洗浄工	1	洗浄工	
ラベルはり工	3	ラベルはり工		製品洗浄工	1	洗浄工	
その他の包装単純作業工	12	ラベルはり工		容器洗浄工	1	洗浄工	
なつ印工	1			清掃衛生作業員	2	その単の純職	
こん包工	4		単純労働の職業	雑務者	3	その単の純職	単純労働の職業
箱詰荷造工	5						
板わくこん包工	1						

4 専門的技術的職業 35例

機械技術者	2	人事課長	1	家具・装飾品外交販売人	1
技術事務員	3	経理課長	1	その他の坑外夫	1
プログラマー	20			採掘役夫	1
その他の教育施設の教員	5			採掘交換係	1
薬剤師	1			電話交換手	1
保健婦	1			守衛	1
家具類デザイナー	1			寮舎管理	2
図書編集係	1			給食調理人	1
翻訳係	1			かない主	1
				内掃除人	3
					4

(注) 4～6については小分類名中分類名は省略した。分類不能は27例。

職種によって、就労している女子の年齢にも特徴があらわれている。年齢を30才でくぎってみると、専門的技術的職業の事例では85%が30才未満の女子だけが就労しており、30才以上の者の就労者は少ない。事務的職業のケースも若年者の就労が多いが、専門的企画的事務員や倉庫係事務員に分類されたものでは30才以上のものばかりが就労している事例もかなり多い。

これに反して、技能工生産工程の職業のうちで金属材料製造や金属加工の分野、および塗装工には30才以上の者ばかりが就労している事例が多い。電気機器、計器光学機器組立・修理の職業では30才未満の若年者ばかりが就労している事例が多い。製図工写真工、試験工分析工も7割から9割近くが若年者ばかりが就労している事例で占められている。

単純労働の職業に属する事例では30才未満ばかりが就労しているのが19%、30才以上のみが就労しているのが51%を占め、中高年齢者が多いとみることができる。しかし就労者の年齢には事業所の規模も相当影響しており、大企業ほど若年者の採用が容易のようにみうけられ、職種との関係だけではないことが、個々の事例からうかがえる。(12表)

なお、この質問では全員男子から女子にかえた場合だけでなく、ひろく次の①～④のようなケースも含めてたずねている。

- ① それまで全員男子が就いていた仕事に、1人以上継続的に女子を就けた場合。
- ② それまで例外的に女子も1名程度まじっていたがほとんど男子が就いていた仕事で、全員女子にかえたか、女子を著しく増やした場合。
- ③ 男子のやっていた仕事の一部をわけて女子にやらせるようにした場合。
- ④ それまで男子しか就いていなかった役職(係長、主任等)に女子が就いた場合。

しかも、あくまで事業所単位でたずねたので、世間一般から見るとすでに女子の就労があたりまえとなっているような仕事についてもその事業所で、この3年位の間に男子から女子へのきりかえが生じている場合は「ある」と回答されている。

したがって、事業所によっては、炊事婦とか清掃員、給仕、受付、単純な事務補助員、コピー作業員、簡単な包装作業、電話交換手などについても男子から女子へのきりかえがあった職種として回答されてきている。職種名一欄を見てわかるようにこのような職種がかなりの数にのぼっており、深刻といわれる人手不足の中でも最近までこの種の職種に男子ばかりを採用できるところもあったということがわかる。

(2) 女子労働者にかえた理由

「その仕事に女子を就けた理由はなんですか」という質問を職種ごとに設けて、次のイ～トのうち該当するものをすべて回答してもらったところ、表13のようになった。

- イ 最近女子が能力的に向いていることがわかった
- ロ 男子が採用できないからその代替として
- ハ 女子の方が賃金がやすいから
- ニ 生産方式の変化、機械化、工具の改良などによって女子でもできるようになったから
- ホ 作業内容を分化して男の仕事の一部を女子がやれるように整理したから

表12 職業別、就業者の年齢別、男子から女子にきりかえた仕事の回答事例数構成比

		()内は実数				
就業者の年齢(注)		計	30才未満のみ	30才以上のみ	そ の 他	年齢不明
職 業						
計		100.0 (1915)	43.1	31.4	24.8	0.7
専門的技術的職業		100.0 (34)	85.3	2.8	8.8	3.0
その他の技術者		100.0 (20)	85.0	5.0	5.0	5.0
事務的職業		100.0 (303)	64.2	20.2	14.9	0.7
会計事務員		100.0 (36)	66.7	19.4	13.9	—
事務用機械操作員		100.0 (18)	72.2	16.7	11.1	—
専門的企画事務員		100.0 (32)	65.6	28.1	6.3	—
人事係事務員		100.0 (29)	72.4	10.3	13.8	3.5
出荷・受荷係事務員		100.0 (27)	59.3	18.5	18.5	3.7
倉庫係事務員		100.0 (21)	47.6	52.4	—	—
一般事務所事務員		100.0 (51)	66.7	10.4	22.9	—
事務補助員		100.0 (25)	55.0	24.0	20.0	—
生産現場事務員		100.0 (50)	74.0	12.0	14.0	—
技能工生産工程の職業		100.0 (434)	38.6	33.1	27.8	0.5
金属材料製造の職業		100.0 (47)	14.9	63.8	21.3	—
金属加工の職業		100.0 (557)	25.3	43.6	30.7	0.4
旋盤工等		100.0 (240)	29.2	41.7	28.8	0.3
金属プレス工		100.0 (66)	24.2	36.4	39.4	—
電気溶接工		100.0 (61)	13.1	45.9	41.0	—
ガス溶接切断工		100.0 (22)	4.5	54.5	36.4	4.6
金属研磨工		100.0 (25)	12.0	72.0	16.0	—
金属製品製造工		100.0 (25)	32.0	24.0	44.0	—
金属製品検査工		100.0 (36)	47.2	33.3	19.5	—
電気機械器具組立・修理の職業		100.0 (116)	57.8	12.1	29.3	0.8
電気機械組立・修理工		100.0 (51)	45.1	11.8	43.1	—
輸送用機械組立・修理の職業		100.0 (44)	27.3	43.2	29.5	—
自動車組立工		100.0 (37)	27.0	43.3	29.7	—
計器・光学機械器具組立・修理の職業		100.0 (45)	44.4	17.8	37.8	—
計器組立工修理工		100.0 (20)	30.0	15.0	55.0	—
その他の機械組立工		100.0 (43)	27.9	39.5	32.6	—
木・竹・草・つる製品製造の職業		100.0 (56)	21.4	44.7	33.9	—
印刷・製本の職業		100.0 (39)	84.6	—	15.4	—
ゴム・可塑物製品製造の職業		100.0 (70)	38.6	28.6	31.4	1.4
可塑物製品成型工		100.0 (27)	37.0	26.0	37.0	—
窯業・土石製品製造の職業		100.0 (55)	25.4	47.3	27.3	—
化学製品製造の職業		100.0 (23)	47.8	21.7	30.5	—
製図工、写図工		100.0 (44)	86.4	2.3	9.1	2.2
試験工、分析工		100.0 (121)	71.9	13.2	14.9	—
塗装工		100.0 (30)	6.7	50.0	33.3	—
単純労働の職業		100.0 (78)	19.0	50.6	28.1	1.3

(注) 各事例ごとにその仕事に就いている女子の年齢が最高29才のものと最低30才のものおよび、29才以下の者も30才以上の者も相方ふくまれているものの3グループにわけた。

表13 職業別、女子を就けた理由別、男子から女子にきりかえた仕事の回答事例数構成比
()内は実数

職業別	女子を就けた理由 (MA)	計	イ 最近 女子が能 力的に向 いてい ることが わかつた	ロ 男子 が採用 できな いから その代 替とし て	ハ 女子 の方が 賃金が やすい から	ニ 機械 化等によ り女子 でもで きよう になつ たから	ホ 男子 の仕事 の一部 を分け て女子 がやれ るよう にした	ヘ 試験 的につ けてみ た	ト その他
計		100.0 (1915)	31.9	23.3	14.4	38.8	45.9	11.5	8.4
専門的技術的職業		100.0 (34)	55.9	14.7	11.8	5.9	47.1	32.4	11.8
事務的職業		100.0 (303)	47.4	15.6	8.8	8.3	45.4	7.3	13.8
技能工生産工程の職業		100.0 (143)	28.6	25.1	15.7	47.3	47.0	11.7	6.1
金属材料製造の職業		100.0 (47)	25.5	29.8	14.9	53.2	46.8	6.4	6.4
金属加工の職業		100.0 (557)	23.0	25.7	16.5	54.2	47.0	12.0	4.1
旋盤工等		100.0 (240)	21.7	27.1	15.0	58.3	45.3	11.3	3.8
金属プレス工		100.0 (66)	12.1	28.8	18.2	63.6	37.9	7.6	3.0
電気溶接工		100.0 (61)	26.2	31.1	14.8	60.7	45.9	9.8	4.9
ガス溶接切断工		100.0 (22)	40.9	22.7	13.6	45.5	45.5	22.7	4.5
金属研磨工		100.0 (25)	32.0	16.0	36.0	44.0	52.0	12.0	
金属製品製造工		100.0 (25)	20.0	28.0	20.0	52.0	48.0	4.0	4.0
金属製品検査工		100.0 (36)	33.3	22.2	22.2	27.8	44.4	22.2	11.1
電気機械器具組立・修理の職業		100.0 (116)	26.7	24.1	13.8	38.8	48.3	6.0	12.1
輸送用機械組立・修理の職業		100.0 (44)	29.5	31.8	18.2	27.3	54.5	18.2	2.3
計器・光学機械器具組立・修理の職業		100.0 (45)	31.1	24.4	8.9	48.9	35.6	13.3	4.1
その他の機械組立工		100.0 (43)	30.2	25.6	16.3	58.1	46.5	7.0	9.3
木・竹・草・つる製品製造の職業		100.0 (56)	25.0	25.0	12.5	66.0	25.0	7.1	10.7
印刷・製本の職業		100.0 (39)	35.9	43.6	15.4	30.8	28.2	20.5	2.6
ゴム・可塑物製品製造の職業		100.0 (70)	34.3	18.6	10.0	64.3	38.6	11.4	7.1
窯業・土石製品製造の職業		100.0 (55)	30.9	18.2	25.5	54.5	29.1	16.4	3.6
化学製品製造の職業		100.0 (23)	39.1	21.7	8.7	47.8	47.8	8.7	13.0
製図工 写図工		100.0 (44)	45.5	18.2	22.7	9.1	68.2	11.4	6.8
試験工 分析工		100.0 (121)	38.0	15.7	13.2	24.0	77.7	16.5	7.4
塗装工		100.0 (30)	23.3	33.3	33.3	33.3	50.0	6.7	10.0
単純労働の職業		100.0 (79)	17.7	25.3	21.5	41.8	40.8	10.1	10.1

注) 理由不明少数は掲載していない

ヘ 試験的につけてみた

ト その他

これら理由は仕事の内容によって相当ことなり、また個々の事業所の事情によっては同じ仕事についても理由がちがってくるのは当然であるから、各事例ごとに仕事の内容、事業所の内容などと関連

させて理由をみるのが望ましいが、ここでは概略を知る意味でかなり頻度の多い職種ごとに総事例数を100%として各回答の割合をみた。全職種を平均すると、「男の仕事の一部を分けて女子がやれるようにしたから」が45.9%、「機械化等により女子でもできるようになったから」が38.8%、「最近女子が能力的に向いていることがわかったため」が31.9%、「男子が採用できないからその代替として」が23.3%等となっている。

専門的技術的職業では当然女子の能力を買ったとみられる理由「イ」が55.9%と多く、あわせて「試験的につけてみた」という回答が32.4%あり他の職種にくらべて群をぬいて高い。

事務的職業でも女子の能力が買われている傾向がみられる。

製図工写図工、試験工分析工では作業内容の分化により男のやっていた仕事の一部を女子にやらせるようにしたケースが多く70~80%近くが「ホ」に回答している。

「機械化等により女子でもできるようになったから」という回答は旋盤工、プレス工、溶接工、研磨工等金属加工の職種で多く45~64%程度が「ニ」に回答している。

ガス溶接切断工、金属製品製造工のケースでは「試験的につけてみた」というのが22%をこえてかなり多くなっている。(表13)

(8) 女子労働者にかえるための措置

「その仕事に女子を就けるにあたってどんな措置をとりましたか」という設問に対して次のイ~ホの回答を用意し多答式で回答してもらった。

- イ 教育訓練をおこなって女子の能力をたかめた
- ロ 安全教育をした
- ハ 安全設備を充実した
- ニ 健康管理を充実した
- ホ 作業時間を男子が就いていた場合とは変更した
- ヘ その他

その結果、全事例平均で「教育訓練をおこなって女子の能力をたかめた」が53.6%、「安全教育をした」が39.7%、「安全設備を充実した」が26.0%、「健康管理を充実した」が12.3%、「作業時間を変更した」が12.6%であった。

女子を就けるにあたって教育訓練をおこなう必要があったとみられる仕事は当然のことながら専門的技術的職業に多く85.3%を占め、ほかにはガス溶接切断工の81.8%、製図工写図工の77.3%、試験工分析工の64.5%などで多い。

女子を就ける際安全設備が充実された仕事は金属加工の職業に多く、金属プレス工では57.6%、旋盤工の50.4%、電気溶接工の42.6%などでとくに多い。また、木・竹・草・つる製品製造の職業に分類された仕事の中にも安全設備が充実されたものが多く、55.4%を占めている。

塗装工では40.0%、金属材料製造の職業では29.8%、木・竹・草・つる製品製造の職業では28.6%の事例が女子を就けるにあたって健康管理の充実をはかっている。

金属研磨工、その他の機械組立工、化学製品製造の職業、塗装工、単純労働の職業等では女子を就

ける際「作業時間を変更した」ケースが25～30%を占めて、他の職種にくらべ多く、パートタイマーの導入がかなりあったものと推定される。

「その他」の措置の具体的な内容は後述の事例集の項を見ていただきたい。(表14)

表14 職業別、女子にかえるための措置別、男子から女子にきりかえた仕事の実例数構成比

()内は実数

職業	女子にかえるための措置(MA)	計	イ 教育訓練をおこなって女子の能力をたかめた	ロ 安全教育をした	ハ 安全設備を充実した	ニ 健康管理を充実した	ホ 作業時間男子が就いていた場合とは変更した	その他
計		100.0(1915)	53.6	39.7	26.0	12.3	12.6	41.8
専門的技術的職業		100.0 (34)	85.3	—	—	—	2.8	14.7
事務的職業		100.0(303)	61.3	8.3	3.0	5.3	10.8	22.8
技能工生産工程の職業		100.0(456)	52.7	49.1	32.8	14.6	12.1	12.3
金属材料製造の職業		100.0 (47)	53.2	36.2	27.7	29.8	8.5	6.4
金属加工の職業		100.0(557)	49.2	57.6	42.4	14.9	10.4	9.3
旋盤工等		100.0(240)	49.6	57.5	50.4	14.6	10.8	9.6
金属プレス工		100.0 (66)	42.4	65.2	57.6	16.7	3.0	6.1
電気溶接工		100.0 (61)	52.5	68.9	42.6	24.6	11.5	8.2
ガス溶接切断工		100.0 (22)	81.8	59.1	27.3	18.2	4.5	4.5
金属研磨工		100.0 (25)	40.0	68.0	36.0	8.0	28.0	8.0
金属製品製造工		100.0 (25)	48.0	52.0	40.0	16.0	12.0	20.0
金属製品検査工		100.0 (36)	58.3	30.6	11.1	5.6	11.1	13.9
電気機械器具組立・修理の職業		100.0(116)	63.8	41.4	23.3	10.3	10.3	9.5
輸送用機械組立・修理の職業		100.0 (44)	34.1	59.1	11.4	4.5	20.5	18.2
計測光学機械器具・組立・修理の職業		100.0 (45)	53.3	22.2	20.0	4.4	8.9	22.2
その他の機械組立工		100.0 (43)	34.9	53.5	18.6	9.3	25.6	30.2
木・竹・草・つる製品製造の職業		100.0 (56)	44.6	41.1	55.4	28.6	5.4	5.4
印刷・製本の職業		100.0 (39)	56.4	23.1	5.1	10.3	10.3	23.1
ゴム・可塑性製品製造の職業		100.0 (70)	54.3	55.7	48.6	18.6	18.6	10.0
窯業・土石製品製造の職業		100.0 (55)	54.5	45.5	36.4	9.1	7.3	7.3
化学製品製造の職業		100.0 (23)	52.2	39.1	26.1	21.7	26.1	8.7
製図工、写図工		100.0 (44)	77.3	4.5	—	2.3	6.8	20.5
試験工、分析工		100.0(121)	64.5	56.2	19.0	13.2	7.4	19.0
塗装工		100.0 (30)	43.3	56.7	23.3	40.0	30.0	3.3
単純労働の職業		100.0 (78)	45.6	36.7	25.3	10.1	25.3	18.0

注) 措置不明少数は掲載していない

(4) 今後女子労働者にかえる予定の有無

今後男子から女子にかえる予定の仕事が「ある」事業所の割合は製造業全体で25.6%であるが、これも大規模事業所で割合が高く、500人以上では35.5%、100～499人では29.6%、30～99人では23.7%となっている。

産業別にみると、家具装飾品製造業では41.9%、精密機械器具製造業では38.8%とかなり多くの事業所が男子から女子にかえる予定の仕事があると答えている。(表6)

3. 女子労働者が進出した仕事(事例編)

事例編では、最近3年間に男子から女子へきりかえた仕事の内容を具体的に示すために、調査票質問1の回答をそのまま掲載し、各回答ごとに回答事業所の事業内容、規模等を付記した。

回答の内容により次の(1)～(4)の4種類に分け、各区分の中では職業大分類別になるようにまとめて掲載した。

なお、紙幅の関係で事例編に集録したのは全回答事例(1915例)のうち302事例である。

(1) 女子労働者の能力がいかされる仕事(24頁)

女子労働者の能力がいかされる職種の例としては、その仕事に女子をつけた理由として「最近女子が能力的に向いていることがわかった」が主に回答されていて、「男子が採用できないからその代替として」や「女子の方が賃金がやすいから」等の理由はあげられていないものをあつめた。また役職者の事例はすべてここにあつめた。

(2) 機械化、作業内容の分化等により女子労働者が就いた仕事(42頁)

ここでは、その仕事に女子を就けた理由として「生産方式の変化、機械化、工具の改良などによって女子でもできるようになった」および「作業内容を分化して男の仕事の一部を女子がやれるように整理した」が中心に回答されている事例をあつめた。したがって事例のほとんどが技能工に類するもので、なかでも金属関係の機械工の例が多い。また、作業内容を分化して女子を就けた例として試験工、分析工の事例が集中している。事務部門の仕事の中からも作業の分化の結果女子が就いている例があがっている。

(3) 男子の代替として女子労働者が就いた仕事(61頁)

人手不足のために女子の職種がふえているのであるから、この調査に回答された事例のすべてに男子の採用難から女子にかえたという事情が多少をとわず存在していると考えられるが、ここでは、仕事の内容が元来女子でも十分できるようなものの例をあつめた。また、その仕事に女子をつけた理由として「男子が採用できないからその代替として」、「女子の方が賃金がやすいから」を主に回答しているものを取りあげた。

(4) そのほか女子労働者の就労が目新しい仕事(78頁)

機械化や人手不足の影響で女子労働者の就業分野はかなり急速に拡がっているので、女子労働者の就労が目新しいとする職種を選定する基準はなかなかむずかしい。ここでは回答の内容から、その仕事に女子を就けた理由として「試験的につけてみた」というのが主に回答されているもの、および溶接工など世間一般からみて目新しいと思われる職種を中心に事例をあつめた。

質 問 事 項	
1. それはどんな仕事ですか	(1) 仕事の内容 ・右の(1)～(5)について記入してください ・(2)～(5)は、その仕事に直接関係のあるものを記入してください ・事務部門等の仕事で(2)～(5)が必要ないときは、その欄を無視して仕事の内容を記入してください
2. 現在その仕事に就いている労働者は何人ですか	(2) 機械、装置名 (3) おもな工具名 (4) 材料名、料品名 (5) 製品名
3. 現在その仕事に就いている女子の年齢は何才ですか (最低年齢と最高年齢を記入してください)	
4. その仕事に女子を就け始めた(女子が急に増えた)のはいつ頃からですか	
5. その仕事に就いている労働者を貴事業所ではどういう職種名で呼んでいますか (貴事業所で用いている職種区分の最もこまかいもので記入してください)	
6. その仕事に女子を就けた理由はなんですか	次の中から該当するものを全部えらんでその記号を回答欄に記入してください 「その他」の場合は内容を記入してください イ 最近女子が能力的に向いていることがわかった ロ 男子が採用できないからその代替として ハ 女子の方が賃金がやすいから ニ 生産方式の変化、機械化、工具の改良などによって女子でもできるようになったから ホ 作業内容を分化して男子の仕事の一部を女子がやれるように整理したから ヘ 試験的につけてみた ト その他
7. その仕事に女子を就ける際にどんな措置をとりましたか	次の中から該当するものを全部えらんでその記号を記入してください 「その他」の場合は内容を記入してください イ 教育訓練をおこなって女子の能力をたかめた ロ 安全教育をした ハ 安全設備を充実した ニ 健康管理を充実した ホ 作業時間を男子が就いていた場合とは変更した ヘ その他
8. 主要事業内容	
9. 労働者数	
10. 生産労働者中女子の占める比率	
11. 貴事業所では女子労働者の活用についてどのようにお考えですか (次の中から該当するものをひとつえらんでください)	1. 女子に教育訓練や昇進の機会を積極的に与えて、その能力を活用する方針である 2. 単純、軽作業にはほとんど女子を活用する方針である 3. 昔から男女区別なく扱う方針できたので特に考えていない 4. 物理的に女子に無理な作業が大部分なので考えられない 5. 女子には全然期待しない 6. その他

(1) 女子労働者の能力がいかされる仕事

回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄
(1) 会計全般を担当し、金銭の出納を行なう。各部門から提出される生産報告を総括して生産日報及び速報を作成する	(1) 予算に基づいて支出計画をたて各部門の支出請求を検討して支出手続をとる主任が女子である	(1) 一般経理事務	(1) 経理課及び財務課事務の統括	(1) 総務・厚生・社会保険・労働基準法関係の事務一般
(2)	(2)	(2)	(2)	(2)
(3)	(3)	(3)	(3)	(3)
(4)	(4)	(4)	(4)	(4)
(5)	(5)	(5)	(5)	(5)
2. 人 人 男() 女(1)	2. 人 人 男(1) 女(3)	2. 人 人 男() 女(1)	2. 人 人 男() 女(1)	2. 人 人 男() 女(1)
3. 39才	3. 35才から19才まで	3. 36才	3. 46才	3. 38才
4. 昭和43年から	4. 昭和42年から	4. 昭和43年から	4. 昭和41年から	4. 昭和41年から
5. 会計係長	5. 会計主任(事務員)	5. 経理係長	5. 経理部次長	5. 総務課係長
6. ト(たまたま有能な女子がいた)	6. イ	6. ト(以前から経理事務の一部を担当していたが全面的に委せてもできることが判明したので)	6. イ(有能な女子職員である為昇進により経理部次長となった)	6. イ(昇進による)
7. ホ なにもしない	7. ホ	7. ト	7. ヘ 特になし	7. ヘ 特になし
8. 婦人用シームレスストッキングの製造	8. 塩化ビニール製品の製造加工	8. 金属製品製造業	8. 電気機械器具製造業	
9. 545人	9. 140人	9. 49人	9. 683人	
10. 86%	10. 5%	10. 0%	10. 36%	
11. 6	11. 2	11. 4	11. 1	

回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄
(1) 各販売会社別の売上集計及び予算管理	(1) 経理事務一般	(1) 会計課及び労務課主任補	(1) 生産計画に基づいて部品手配表を作成部品の発注並びに督促の業務を司る	(1) 営業、企画に参加（主製品が婦人服のため）
(2)	(2)	(2)	(2)	(2)
(3)	(3)	(3)	(3)	(3)
(4)	(4)	(4)	(4)	(4)
(5)	(5)	(5)	(5)	(5)
2. 男(0) 女(1)	2. 男(2) 女(2)	2. 男() 女(2)	2. 男() 女(1)	2. 男() 女(2)
3. 31才	3. 21才から29才まで	3. 28才から31才まで	3. 35才	3. 32才から45才まで
4. 昭和44年から	4. 昭和44年から	4. 昭和43年から	4. 昭和42年から	4. 昭和42年から
5. 業務部主任	5. 総務課主任	5. 主任補	5. 資材係長	5. 主任、係長
6. ト（たまたま有能な女子職員がいた）	6. イ ト（経験が深く有能な者がいた）	6. イ	6. ロ ト（たまたま有能な女子職員がいた）	6. イ ホ
7. ヘ	7. イ	7. ヘ 勤続、経験能力を勘案、女子も役職につけた	7. ト	7. ヘ 企業並に営業の内容を説明し、経営者の1人としての職務付を行なった
8. 電気製品の製造販売	8. スベアータイヤハンガー専用機製作	8. ビール、サイダー用コルク王冠製造	8. 小型モーター製造業	8. 外衣類縫製業
9. 1,200人	9. 85人	9. 145人	9. 97人	9. 89人
10. 不明	10. 18%	10. 15%	10. 74%	10. 94%
11. 3	11. 2	11. 2	11. 2	11. 1

(女子労働者の能力がいかされる仕事つづき)

回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄
(1) 上司の指示の下に生産計画書に基づき生産金額の計算及び仕掛品標準化の計算	(1) 上司の指示の下に自工場及び下諸工場の月間生産計画表をつくり、それによって作業の進行状況を調査、納入先と納期折衝をする	(1) 生産管理 納入管理及び統計	(1) 業務係 (工場長補佐としての業務総括)	(1) 包装計算 板ガラス切出寸法の算出及び伝票の記入、集計
(2)	(2)	(2)	(2)	(2)
(3)	(3)	(3)	(3)	(3)
(4)	(4)	(4)	(4)	(4)
(5)	(5)	(5)	(5)	(5)
2. 人 人 男(31) 女(3)	2. 人 人 男(2) 女(1)	2. 人 人 男(0) 女(1)	2. 人 人 男() 女(1)	2. 人 人 男(4) 女(3)
3. 20才から 23才まで	3. 22才	3. 36才	3. 22才	3. 18才
4. 昭和41年から	4. 昭和43年から	4. 昭和41年から	4. 昭和44年から	4. 昭和44年から
5. 計 画 係	5. 計画生産品進行係	5. 生産管理課係長	5. 業 務 主 任	5. 包 装 計 算
6. イ	6. ヘ	6. イ (有能である為係長となった)	6. イ (素質があれば女子に適しているから)	6. イ ホ
7. イ	7. イ	7. ヘ 特になし	7.	7. イ ホ
8. 軸受製造	8. 工業用ゴム製品製造	8. 電気機械器具製造業	8. 諸機械、器具の部品製造販売	8. 硝子製造
9. 2,723人	9. 46人	9. 683人	9. 30人	9. 1,244人
10. 12%	10. 46%	10. 36%	10. 15%	10. 6%
11. 2	11. 1	11. 1	11. 1	11. 1 (ただしスタッフ関係について)

回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄
(1) ピアノ外装ケース (塗装したもの) を外注先より受入検査する	(1) 外注先より製品受入検査、処理、材料の受入、係長は女子	(1) 営業一般事務 (外部接渉を含む) 責任者	(1) 営業関係一般 (業務課購買係長)	(1) 船室金具、タイル、衛生陶器の購入に関する業者との折衝、要求部門との連絡調整
(2)	(2)	(2)	(2)	(2)
(3)	(3)	(3)	(3)	(3)
(4) ピアノケース	(4)	(4)	(4)	(4)
(5)	(5)	(5)	(5)	(5)
2. 人 人 男(4) 女(1)	2. 人 人 男(1) 女(7)	2. 人 人 男(2) 女(3)	2. 人 人 男() 女(1)	2. 人 人 男() 女(1)
3. 24才	3. 18才から 42才まで	3. 39才から 50才まで	3. 43才	3. 38才
4. 昭和43年から	4. 昭和43年から	4. 昭和42年から	4. 昭和43年から	4. 昭和44年から
5. 検 査 係	5. 受 入 係 長	5. 営 業 主 任	5. 業務課購買係長	5. 一 般 事 務
6. イ	6. ホ ヘ	6. イ	6. イ	6. イ
7.	7. ホ	7. イ	7. ヘ 女子の能力を向上させる為	7. ヘ (女性向の品目を担当させた)
8. 楽器製造業	8. プラスチック成形業	8. 電解コンデンサー、ゴムパッキング製造	8. ミシンモーター製造	8. 船舶、機械、プラント、鉄構製造
9. 254人	9. 108人	9. 77人	9. 618人	9. 1,110人
10. 30%	10. 49%	10. 91%	10. 48%	10. 0%
11. 2	11. 6	11. 1	11. 1	11. 1

(女子労働者の能力がいかされる仕事につき)

回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄
(1) 販売受注統計 出荷集計 注残統計 販売デスク	(1) 資材購入業務 本社一括購入雑 品の価格納期等 について業者と 交渉する その他	(1) 副資材の購入及 び在庫管理 (全面的に女子 が担当)	(1) 広報活動	(1) 技術員のための アシスタント
(2)	(2)	(2)	(2)	(2)
(3)	(3)	(3)	(3)	(3)
(4)	(4)	(4)	(4)	(4)
(5)	(5)	(5)	(5)	(5)
2. 人 人 男(4) 女(2)	2. 人 人 男(6) 女(1)	2. 人 人 男(1) 女(2)	2. 人 人 男(3) 女(5)	2. 人 人 男(20) 女(3)
3. 28才から 26才まで	3. 30才	3. 18才から 25才まで	3. 20才から 23才まで	3. 18才から 22才まで
4. 昭和44年から	4. 昭和43年から	4. 昭和44年から	4. 昭和42年から	4. 昭和44年から
5. 事務職	5. ナ シ	5.	5. 広報係	5. 技術課員
6. イ	6. イ(当人に男子に 近い能力がある ため)	6. イ ホ ヘ	6. イ	6. イ
7. イ	7. イ	7. ト(略図も入れて 部品一覧表を作 成有能な女子が いたのでコンピ ューターへの準 備も考慮して資 料作成傍ら担当 させた)	7. イ	7. イ
8. フォームガラス ガラスブロック 製造	8. 各種セメント製 造	8. 船舶用機装品の 製造	8. オイルシール他 工業用部品の製 造	8. 電気機械器具レ コードの製造又 び販売
9. 68人	9. 504人	9. 155人	9. 253人	9. 157人
10. 0%	10. 0%	10. 5%	10. 該当なし	10. 51%
11. 4	11. 1	11. 1	11. 1	11. 1

回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄
(1) 給与、福利厚生 事務、従来男子 の指示によりア シスタント的作 業をしていたが 個々に責任職務 を設けた	(1) 寄付、賛助の接衝 社外団体への加入調 整脱退手続、社内行 事の実施、社内持 事の審査、社内放送 原稿の審査、受付、交 換手の指導	(1) 社会保険 私保険の調査研 究と総括	(1) プログラミング 及びオペレーテ ィング	(1) プログラマー
(2)	(2)	(2)	(2) コンピューター	(2) HTAC8200
(3)	(3)	(3)	(3)	(3)
(4)	(4)	(4)	(4)	(4)
(5)	(5)	(5)	(5)	(5)
2. 人 人 男() 女(2)	2. 人 人 男(1) 女(1)	2. 人 人 男() 女(1)	2. 人 人 男(10) 女(3)	2. 人 人 男(6) 女(6)
3. 19才から 21才まで	3. 42才	3. 40才	3. 18才から 20才まで	3. 22才から 18才まで
4. 昭和43年から	4. 昭和44年から	4. 昭和41年から	4. 昭和41年から	4. 昭和43年から
5. 給与、厚生、住宅	5. 主事(事務)	5. 主事(事務)	5. プログラマー オペレーター	5. コーダー
6. イ ホ	6. イ(検定試験に合 格した女子は主 事に昇格させて いる)	6. イ(検定試験に合 格した女子は主 事に昇格させて いる)	6. イ ホ ヘ	6. ロ ホ(男子プログラ マーの補助) ヘ ト(根気がいるの で女子向き)
7. イ	7. ヘ(勤続が長い ためとくに配置は いらなかった)	7. イ	7. イ	7. ホ イ
8. 合成洗剤、油脂 製造	8. 船舶、機械、プ ラント、鉄構の 製造	8. 船舶、機械、プ ラント、鉄構の 製造	8. 特殊鋼々材	8. 船舶改造修理
9. 317人	9. 1,110人	9. 1,110人	9. 289人	9. 2,002人
10. 39%	10. 0%	10. 0%	10. 該当なし	10. 0.1%
11. 1	11. 1	11. 1	11. 2	11. 4

(女子労働者の能力がいかされる仕事つづき)

回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄
(1) 電子計算機のプログラム作成 EDP化企画	(1) 上級職の一般的監督の下に、比較的単純なシステムについてP.C.S.のプログラミング及びオペレーション、EDP.Sのプログラミングをおこなう	(1) 電子計算機オペレーター	(1) ブロック中子組立	(1) 仕上工 鋳物製品の穴があいているところをパテでうめ修正する
(2) HITAC8100	(2)	(2)	(2)	(2)
(3)	(3)	(3)	(3) 手作業	(3)
(4)	(4)	(4)	(4) 自動車鋳物部品 中子	(4)
(5)	(5)	(5)	(5) シリンダー ブロック	(5) 搬運機ウエイト
2. 人 人 男(21) 女(1)	2. 人 人 男(5) 女(1)	2. 人 人 男(3) 女(5)	2. 人 人 男(9) 女(1)	2. 人 人 男(10) 女(5)
3. 39才	3. 24才	3. 20才から 23才まで	3. 40才	3. 33才から 38才まで
4. 昭和42年から	4. 昭和42年から	4. 昭和43年から	4. 昭和44年から	4. 昭和41年から
5. プログラマー	5. プログラマー	5. マシンオペレーター	5. 中子工	5. 仕上工
6. イ ニ	6. イ ホ ヘ	6. ハ ヘ ホ	6. イ(女子の器用さが役立つ) ニ	6. イ
7. イ	7. イ	7. イ	7. イ	7. なにもしない
8. 製鉄業	8. 自動車の開発、ロケット、繊維機械の製造	8. 硝子、化学工業用機器製造	8. 鉄鉄鋳物製造	8. 鋳物製品製造
9. 8,552人	9. 1,814人	9. 3,133人	9. 361人	9. 68人
10. 2%	10. 2%	10. 13%	10. 17%	10. 21%
11. 2	11. 6	11. 2	11. 6	11. 1

回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄
(1) 自動ボイラーを操作してアルマイト板にグリューを吹きつける	(1) (2)を操作して特殊鋼材料品を検査する	(1) 圧延品、機械加工品の外観検査	(1) 棒材の底見 螢光塗料を使用し棒材の底の有無をチェックする	(1) ヒューム管の内に入れる鉄筋カゴの製作
(2) 自動ボイラー	(2) 音波探傷機	(2)	(2) エアー グラインダー	(2) 鉄筋編成機
(3)	(3)	(3) 測定器具	(3)	(3) なし
(4) アルマイト板	(4) 特殊鋼	(4)	(4) 伸線	(4) 鉄筋
(5)	(5) 特殊鋼材料品	(5) 鋼材	(5) 線材	(5) 鉄筋カゴ
2. 人 人 男(3) 女(3)	2. 人 人 男(4) 女(1)	2. 人 人 男(65) 女(8)	2. 人 人 男(3) 女(6)	2. 人 人 男() 女(5)
3. 20才から 25才まで	3. 39才	3. 18才から 35才まで	3. 27才から 43才まで	3. 46才から 30才まで
4. 昭和44年から	4. 昭和43年から	4. 昭和43年から	4. 昭和42年から	4. 昭和41年から
5. プリント係	5. 検査員	5. 検査員	5.	5. 鉄筋工
6. イ	6. イ ホ	6. イ ニ	6. イ	6. イ(男子より女子の方が能力的に良いから)
7. ロ	7. イ	6. イ ロ ニ	7. イ ロ	7. ロ
8. アルマイト加工業	8. 特殊鋼の鍛造加工	8. 特殊鋼々材間加工品製造	8. 特殊鋼製造	8. ヒューム管の製造
9. 122人	9. 177人	9. 2,461人	9. 1,094人	9. 46人
10. 60%	10. 5%	10. 3%	10. 5%	10. 30%
11. 2	11. 4	11. 4	11. 2	11. 6

(女子労働者の能力がいかされる仕事つづき)

回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄
(1) 部材1つ1つを鉄板に書いていく	(1) カラーテレビ組立配線の指導	(1) ステレオ・アンプの配線、調整指導に従事	(1) 電気機械修理作業(モーター修理)	(1) 手の感触でモーターのバランス修正をはかる
(2) すみつば	(2)	(2) 測定器	(2) 捲線機	(2)
(3) 金ざし	(3)	(3) ハンドゴテ等	(3) ペンチニッパー	(3)
(4)	(4)	(4) 組立用部品	(4) 電線	(4) モーター
(5)	(5)	(5) ステレオアンプ	(5) モータートランス配電盤	(5) 掃除機
2. 人 人 男(7) 女(1)	2. 人 人 男(30) 女(20)	2. 人 人 男(50) 女(150)	2. 人 人 男(8) 女(4)	2. 人 人 男(0) 女(1)
3. 37才	3. 20才から23才まで	3. 16才から28才まで	3. 18才から23才まで	3. 19才
4. 昭和41年から	4. 昭和42年から	4. 昭和43年から	4. 昭和43年から	4. 昭和43年から
5. 現 図 工	5. 指 導 員	5. 組 立 工 (班長処遇)	5. 設備機械修理	5. 組 立 工
6. イ ホ	6. イ ト(同業務は殆んどが女子作業者であり作業者と同性の指導者をおくことにより監督者との人間関係コミュニケーションの向上をはかる)	6. イ	6. イ ホ ト(モラルのアップ)	6. イ
7. イ	7. イ ロ	7. イ	7. イ ロ	7. イ
8. 金属製品製造	8. カラーテレビ受像機製造	8. ステレオ装置テープレコーダー	8. 電気機械器具製造	8. 扇風機、掃除機製造
9. 204人	9. 3,500人	9. 1,446人	9. 8,134人	9. 1,319人
10. 17%	10. 66%	10. 44%	10. 60%	10. 59%
11. 2	11. 1	11. 1	11. 1	11. 2

回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄
(1) 図面、日譯指導票、作業規格等により紙マイカガラステープ等各種絶縁材料を用いて手巻又は機械でテーピング作業を行なう	(1) 組(30~40人)内の作業工程の推進と作業者の指導監督(電力量計試験を担当)	(1) 避雷器組立作業監督指示	(1) 水晶ロハキの調整測定	(1) 長さ1mの紙の筒をマンドルにさしこんで一度に10数口に切断する
(2) テーピングマシンモールド機	(2)	(2)	(2) 発振器、レベルメーター、カウンタ、抵抗減衰器	(2) リカッティング機
(3) 金バサミスコアコンパス分度器	(3)	(3)	(3) ハンドゴテ、ドライバー	(3)
(4) マイカミノ紙クラクト紙	(4)	(4)	(4)	(4) 紙筒
(5) スターダコイルアーマチュコイル	(5) 電力量計	(5) 避雷器	(5)	(5) 乾電池
2. 人 人 男(34) 女(50)	2. 人 人 男(70) 女(1)	2. 人 人 男(0) 女(1)	2. 人 人 男(10) 女(6)	2. 人 人 男(0) 女(5)
3. 18才から49才まで	3. 38才	3. 39才	3. 19才から26才まで	3. 20才から30才まで
4. 昭和41年から	4. 昭和42年から	4. 昭和43年から	4. 昭和43年から	4. 昭和42年から
5. 絶 縁 巻 員	5. 組 長 職	5. 作 業 主 任	5. 調 整 工	5. リカッティング作業
6. イ ト	6. イ ニ	6. イ ロ	6. イ ホ	6. イ ニ
7. イ (教育訓練、安全教育等作業に必要と思われる措置は全てとっている)	7. イ	7. ハ	7. イ ロ	7. イ ハ
8. 水車、蒸気タービン発電機、原子力発電機、整流器他	8. 電力量計半導体製品	8. 電気機器製造販売	8. 通信機器の製造	8. 乾電池、カミソリ、フラッシュライト製造
9. 10,231人	9. 2,595人	9. 59人	9. 784人	9. 1,736人
10. 7%	10. 49%	10. 54%	10. 51%	10. 54%
11. 2	11. 1	11. 2	11. 2	11. 2

(女子労働者の能力がいかされる仕事につき)

回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄
(1) 各種乾電池の出荷検査(電圧電流測定及び外観)	(1) シールドボックス内でラジオ周波数計のチェック	(1) 上司の指示のもとに生産予定表により作業を遂行させ管理する	(1) 自動車完成時の検査	(1) 光学硝子の屈折率を計算して調合を決定する
(2) 直流電圧電流計	(2) 測定器	(2) P P組立機	(2) チェックシート	(2)
(3) ノギス、マイグロメーター	(3)	(3)	(3)	(3)
(4)	(4) なし	(4) ハブカメラ	(4)	(4)
(5) 各種乾電池	(5) ラジオ	(5) 注射針	(5) 商用車	(5)
2. 人 人 男() 女(3)	2. 人 人 男(12) 女(6)	2. 人 人 男(1) 女(30)	2. 人 人 男(17) 女(5)	2. 人 人 男() 女(1)
3. 19才から 25才まで	3. 18才から 25才まで	3. 25才	3. 19才	3. 18才
4. 昭和44年から	4. 昭和41年から	4. 昭和43年から	4. 昭和44年から	4. 昭和43年から
5. 検査係	5. 特になし	5. P P組立班長	5. 工程検査係員	5. インデックス計算
6. イ	6. イ	6. ト(能力を有する女子がいた)	6. イ ロ ハ	6. イ
7. イ	7. イ	7. ト	7. イ ロ	7. イ
8. 乾電池製造	8. 電気機械器具の製造及販売	8. 医療器具製造	8. 自動車製造	8. 光学硝子製造
9. 98人	9. 283人	9. 593人	9. 976人	9. 224人
10. 55%	10. 67%	10. 64%	10. 4%	10. 34%
11. 1	11. 1	11. 3	11. 2	11. 6

回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄
(1) ドライバー、ピンセット、ヤットコを使って計器の組立をする	(1) 露出計、磁気ヘッド関係の組立指導	(1) 検査の最終工程をチェックする	(1) (2)により(4)を使って(5)を組み立てる	(1) リベッティングマシンで部品のカシメ作業をする
(2)	(2) 双眼顕微鏡	(2)	(2) ベルトコンベアー	(2) リベッティングマシン
(3) ドライバー、ピンセット、ヤットコ	(3) ピンセット	(3)	(3)	(3)
(4)	(4)	(4)	(4) カメラ部品	(4)
(5) バロメーター	(5) 露出計、磁気ヘッド	(5)	(5) カメラ	(5)
2. 人 人 男(5) 女(8)	2. 人 人 男(4) 女(1)	2. 人 人 男(1) 女(10)	2. 人 人 男(32) 女(46)	2. 人 人 男(16) 女(23)
3. 17才から 24才まで	3. 26才	3. 24才	3. 15才から 45才まで	3. 16才から 40才まで
4. 昭和42年から	4.	4. 昭和42年から	4. 昭和43年から	4. 昭和41年から
5. バロメーター部組立工	5. リーダー	5. 組 長	5. 組 立 工	5. 組 立 工
6. イ	6. イ ハ	6. イ	6. イ ハ	6. イ
7. ハ(腰掛け作業であり、製品も手の平にのるほどの小さなものである、特別の措置はとらなかった)	7. ハ(選考試験を男子と共にしない合格者を選んだ)	7. イ	7. イ	7. ロ ハ
8. 気象観測計器	8. 精密機械器具製造	8. 男子用腕時計の組立	8. カメラ組立、カメラ部品製造	8. 金銭登録機
9. 134人	9. 450人	9. 423人	9. 122人	9. 230人
10. 14%	10. 50%	10. 87%	10. 45%	10. 28%
11. 2	11. 1	11. 1	11. 2	11. 6

(女子労働者の能力がいかされる仕事につき)

回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄
(1) 実用試験班の班長として、女子作業員の作業指導、作業監督を行なう	(1) 裁断器使用並縫製指導	(1) タイヤ検査	(1) 1人で(2)を1台操作して赤デンワ機の握りに文字を彫刻するその他の金型彫刻	(1) プラスチック粉砕
(2) コンベア作業	(2) 裁断器	(2)	(2) 平面彫刻機	(2) 粉砕機
(3) ドライバー	(3)	(3)	(3)	(3)
(4)	(4)	(4)	(4)	(4) プラスチック加工不良品
(5) トスチック	(5) 制服	(5) 自動車用タイヤ	(5) 赤デンワ握り	(5)
2. 人 人 男() 女(1)	2. 人 人 男() 女(1)	2. 人 人 男(2) 女(9)	2. 人 人 男() 女(1)	2. 人 人 男(1) 女(3)
3. 23才	3. 25才	3. 18才から23才まで	3. 30才	3. 38才から48才まで
4. 昭和42年から	4. 昭和43年から	4. 昭和42年から	4. 昭和42年から	4. 昭和43年から
5. 班 長	5. 指 導 員	5. タイヤ検査技能員	5. 技術彫刻係	5. 女子粉砕員
6. イ ヘ ト(班員約20名の把握、女子のため特に相談相手となることを目的とする)	6. ロ	6. イ	6. ニ イ	6. イ
7. イ ロ	7. イ	7. イ	7. イ ロ	7. ロ ハ
8. 事務用機器製造 小型加算機製造	8. 外衣縫製業	8. タイヤ、チューブ製造	8. プラスチック製品製造	8. プラスチック製品成型加工
9. 1,985人	9. 89人	9. 1,491人	9. 122人	9. 44人
10. 34%	10. 94%	10. 13%	10. 35%	10. 45%
11. 1	11. 1	11. 2	11. 6	11. 2

回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄
(1) 多層回路板の検査	(1) 1人で加硫毎10基の蒸気圧、空気圧、温度を(2)により記録し操作者に伝える	(1) 機械設計のトレーサー (男子が研究開発設計した図面のトレース)	(1) 技術試験主任代理	(1) 鉄鉄特殊鋼、合金鉄、その他の鋼中の特殊成分および普通成分を作業標準書に従って分析し記録する
(2)	(2) 制御盤	(2)	(2)	(2) 分光電光光度計、電気抵抗測定装置
(3) 顕微鏡	(3)	(3) 製図板他	(3)	(3) 分析用器具一式
(4)	(4)	(4)	(4)	(4) 鋼、鉄鉄分析試料塊 合金鋼特殊鋼分析試料塊
(5) 多層回路板	(5)	(5) 設計図	(5)	(5)
2. 人 人 男() 女(8)	2. 人 人 男() 女(1)	2. 人 人 男(5) 女(2)	2. 人 人 男(9) 女(6)	2. 人 人 男(30) 女(10)
3. 18才から20才まで	3. 20才	3. 20才から25才まで	3. 19才から27才まで	3. 29才から41才まで
4. 昭和41年から	4. 昭和43年から	4. 昭和41年から	4. 昭和44年から	4. 昭和43年から
5. 検査員	5. 加硫記録工	5. トレーサー	5. 主任代理	5. 分析職
6. イ	6. イ	6. イ ホ	6. イ ホ	6. イ ホ
7. イ	7. イ ロ	7. イ	7. ロ	7. イ ロ
8. 合成樹脂製品の製造	8. ゴム長靴等製造	8. バチンコ遊技機の製造	8. 医薬品製造	8. 製鉄業
9. 1,717人	9. 707人	9. 381人	9. 198人	9. 24,458人
10. 16%	10. 73%	10. 14%	10. 52%	10. 4%
11. 1	11. 1	11. 1	11. 6	11. 2

(女子労働者の能力がいかされる仕事につき)

回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄
(1) シリコン及びスラゲ(副産物)分析したり高度分析(男子作業員が従事)の補助業務	(1) 定められた手順に従って原料製品、工程の化学分析を行う	(1) 材料分析	(1) 研究所技術員の助手	(1) 物性試験 粒度分布検査 残存モノマー検査 揮発分の検査 相対粘度検査 軟化点検査
(2)	(2) 化学分析装置	(2) 精密天秤	(2)	(2)
(3) フラスコ ピーカー	(3) 分析器具	(3) フラスコ試験管	(3) 分析器具	(3)
(4) 試薬品	(4) 試薬	(4) 磁性材料	(4) 化学薬品	(4)
(5)	(5) 分析値	(5) 磁気ヘッド	(5)	(5) ポリスチレン
2. 人 人 男(8) 女(2)	2. 人 人 人 男(13) 女(6)	2. 人 人 人 男(0) 女(2)	2. 人 人 人 男(200) 女(30)	2. 人 人 人 男(7) 女(3)
3. 18才から 20才まで	3. 49才から 18才まで	3. 18才から 30才まで	3. 18才から 22才まで	3. 19才から 20才まで
4. 昭和42年から	4. 昭和40年から	4. 昭和43年から	4. 昭和40年から	4. 昭和43年から
5. 分 析 員	5. 技 術 員	5. 材料研究係員	5. 研 究 助 手	5. 検 査
6. イ ホ	6. ト 工業高校化学科を卒業した女子をもって男子と代替した	6. イ	6. イ ト(短大卒を採用、学校で技術を習得しているのを、助手として即時配属が可能である)	6. イ(女子の繊細さ、正確さ、粘り強さがこの仕事に向いている)
7. イ ロ	7. なにもしない	7. イ	7. イ	7. ロ
8. 高、低炭素クロム	8. 電解二酸化マンガン 電解金属クロムの製造	8. 精密機械器具製造	8. アクリル酸エステル苛性ソーダ等製造	8. ポリスチレン、ホルマリン、酢酸の製造
9. 217人	9. 646人	9. 450人	9. 2,355人	9. 379人
10. 0%	10. 7%	10. 50%	10. 2%	10. 3%
11. 4	11. 4	11. 1	11. 4	11. 1

回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄
(1) 上級職の個別的監督の下で計器による測定実験装置の運転測定データの整理をおこなう	(1) 金属顕微鏡検査、機械試験鋼線、棒片の結晶、組織強度の検査	(1) 研究業務	(1) 暗室カメラ、工業用カメラの撮影、焼付、現像	(1) 楽器部品の仕上げ工程及び自主検査
(2)	(2) 顕微鏡	(2) 各種研究器具	(2) 暗室カメラ	(2)
(3)	(3)	(3)	(3)	(3)
(4)	(4) 鋼片、棒鋼、鋼線	(4) 石油製品	(4) 印画紙等	(4)
(5)	(5)	(5)	(5)	(5)
2. 人 人 人 男() 女(4)	2. 人 人 人 男(8) 女(14)	2. 人 人 人 男(101) 女(10)	2. 人 人 人 男(1) 女(1)	2. 人 人 人 男() 女(6)
3. 18才から 22才まで	3. 18才から 28才まで	3. 19才から 21才まで	3. 25才	3. 19才から 50才まで
4. 昭和43年から	4. 昭和43年から	4. 昭和41年から	4. 昭和43年から	4. 昭和43年から
5. 技術補助職	5. 金属試験工	5. 研 究 所 員	5. カメラ係	5. 塗装課指導員
6. イ ホ ヘ	6. イ ホ	6. イ ニ ホ	6. イ ニ	6. イ
7. イ	7. ハ ニ	7. イ ロ	7. イ	7. イ
8. 自動車の開発、ロケット、繊維機械の製造	8. 鉄鋼機械製造	8. 石油製精業	8. 手帳、アルバム印刷、製本	8. 楽器部品製造
9. 1,814人	9. 12,950人	9. 822人	9. 333人	9. 85人
10. 2%	10. 1%	10. 1%	10. 48%	10. 36%
11. 6	11. 2	11. 2	11. 1	11. 1

(女子労働者の能力がいかされる仕事につき)

回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄
(1) 製品の包装過程 (女子127) 人の 作業計画と監督 指導をする	(1) 鉄骨建築物の設 計	(1) 生産設計	(1) 機械器具設計	(1) 女子教育トレー ナー
(2)	(2)	(2)	(2)	(2)
(3)	(3)	(3)	(3)	(3)
(4)	(4)	(4)	(4)	(4)
(5)	(5)	(5)	(5)	(5)
2. 人 人 男() 女(1)	2. 人 人 男(3) 女(2)	2. 人 人 男(12) 女(5)	2. 人 人 男(40) 女(4)	2. 人 人 男(5) 女(8)
3. 39才	3. 23才	3. 17才から 18才まで	3. 19才から 21才まで	3. 19才から 41才まで
4. 昭和43年から	4. 昭和43年から	4. 昭和44年から	4. 昭和42年から	4. 昭和43年から
5. 経 務 係 員	5. 技 術 職	5. 技能職社員	5. 技術補助員	5. 事務助手、係員
6. ト(包装部門にた またま有能な女 子がいいたから)	6. イ ホ ヘ	6. ヘ	6. イ ホ	6. イ
7. ホ なにもしない	7. イ	7. イ	7. イ	7. イ
8. 婦人用シームレ スストックキング の製造	8. 鉄鋼製品の製造 販売	8. 船舶建造修理	8. 衛生陶器、水栓 金具の製造	8. 板硝子、ソーダ 灰等の化学薬品 製造
9. 545人	9. 1,870人	9. 926人	9. 5,628人	9. 2,014人
10. 86%	10. 該当なし	10. 1%	10. 66%	10. 11%
11. 6	11. 1	11. 4	11. 6	11. 1

回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄
(1) 新人女子社員教 育講師	(1) 健康管理 従業員及家族の 健康管理、指導	(1) 新製品デザイン	(1) 人事課長	(1) 電話交換手の監 督、指導を行な う
(2)	(2)	(2)	(2)	(2)
(3)	(3)	(3)	(3)	(3)
(4)	(4)	(4)	(4)	(4)
(5)	(5)	(5)	(5)	(5)
2. 人 人 男(1) 女(2)	2. 人 人 男() 女(1)	2. 人 人 男(7) 女(2)	2. 人 人 男() 女(1)	2. 人 人 男(0) 女(1)
3. 22才	3. 34才	3. 18才から 19才まで	3.	3. 42才
4. 昭和43年から	4. 昭和43年から	4. 昭和43年から	4. 昭和 年から	4. 昭和43年から
5. ナ シ	5. 保 健 婦	5. デザイナー	5. 人 事 課 長	5. 交 換 室 主 任
6. イ	6. ト(生産性向上の ためには各従業 員が健康で安全 に仕事を遂行せ ねばならぬ。そ のため生活の基 盤である各家庭 を訪問し保健指 導を行う)	6. イ ト(厨房器具のデ ザインには女子 のニューセンス が必要)	6. チ	6. イ ト(能力にふさわ しい処遇を与え るため)
7. イ	7. ニ	7. イ(具体的なデザ イン教育を行な いつつある)	7. ト	7. ヘ
8. 各種セメント製 造	8. 船舶造修	8. アルミニウム製 品加工全般	8. 農機具製造業	8. エレベーター エスカレーター
9. 504人	9. 766人	9. 1,144人	9. 278人	9. 490人
10. 0%	10. 2%	10. 8%	10. 27%	10. 25%
11. 1	11. 2	11. 2	11. 1	11. 2

(2) 機械化、作業内容の分化等により女子労働者が就いた仕事

回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄
(1) 給与関係事務	(1) 統計作成	(1) 部品調達業務 購入依頼表にも とづき協力工場 との見積りあわ せ、発注、納期 督促を行なう	(1) 関連会社従業員 に対する通所許 可証の発行事務 及び窓口事務	(1) 鋳物の中子作り
(2)	(2)	(2)	(2)	(2) ブローイング マシン
(3)	(3)	(3)	(3)	(3)
(4)	(4)	(4)	(4)	(4) 砂
(5)	(5)	(5)	(5)	(5) フレーム
2. 人 人 男(1) 女(2)	2. 人 人 男() 女(24)	2. 人 人 男(10) 女(5)	2. 人 人 男(1) 女(1)	2. 人 人 男(8) 女(9)
3. 18才から 19才まで	3. 20才から 40才まで	3. 21才から 28才まで	3. 34才	3. 30才から 42才まで
4. 昭和43年から	4. 昭和40年から	4. 昭和43年から	4. 昭和43年から	4. 昭和44年から
5. 嘱 託	5.	5. 生産管理係	5. 事 務 職	5. 造型員(中子)
6. ニ (電子計算機の 導入)	6. ホ	6. ホ ト (能力向上を図 る 平均賃金上昇防 止 将来のステーグ ス・インフレへ の対処)	6. ホ	6. ニ ホ ヘ
7. イ	7. イ	7. イ	7. ヘ 特になし	7. イ ロ
8. フェロアロイ カーバイト製造	8. 鉄鋼製品製造	8. マイクロスイ ッチ、燃焼、 空調制御機器 電算機製造	8. 鉄鉄半成品鋼材 製造	8. 電気機器の製造
9. 686人	9. 889人	9. 901人	9. 5,340人	9. 1,536人
10. 0%	10. 該当なし	10. 50%	10. 0%	10. 19%
11. 2	11. 1	11. 6	11. 2	11. 2

回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄
(1) 鋳物用砂の配合 処理	(1) ダイヤモンドダ イスに鋼線を通 し、機械で細い 線に引き伸ばす	(1) 線材を伸線機に 通しある一定の 寸法まで伸線す る	(1) 合金鉄を規格の サイズに粗 碎 (機械)して、袋 につめる	(1) 造管機で造管さ れたパイプを1 m~6mに自動 切断機により切 断端面をヤスリ 仕上げし50t~ 100t単位で結束
(2) サンドミル、サ ンドブレンダー	(2) 伸線機	(2) 円型伸線機	(2) 粗碎機	(2) コスモ自動パイ プ切断
(3)	(3) ヤットコ ヤスリ	(3) なし	(3) スコップ	(3) ヤスリ、スパナ
(4)	(4) 鋼線	(4) 伸線	(4) 袋 縄	(4) 構造用鋼管
(5)	(5)	(5) 線材	(5)	(5)
2. 人 人 男() 女(3)	2. 人 人 男(18) 女(4)	2. 人 人 男(8) 女(2)	2. 人 人 男(5) 女(3)	2. 人 人 男(10) 女(22)
3. 46才から 60才まで	3. 20才から 30才まで	3.	3. 28才から 33才まで	3. 33才から 55才まで
4. 昭和41年から	4. 昭和44年から	4. 昭和41年から	4. 昭和42年から	4. 昭和43年から
5. 砂 処 理 工	5. 伸 線 係	5. 伸 線 工	5. シリコマンガ ン 仕 上	5. 機械運転 又は補助工
6. ニ ホ	6. ニ	6. ニ ホ	6. イ ニ	6. イ ニ ホ
7. ト	7. ハ	7. イ ロ ハ	7. イ ロ ハ	7. イ ロ ホ
8. 非鉄合金製造加 工	8. 裸軟鋼線、銅、 メッキ軟鋼線	8. 特 殊 鋼	8. シリコマンガ ン (合金鉄)、天井 材、建築鉄製造	8. 金属加工業
9. 36人	9. 103人	9. 1,094人	9. 169人	9. 274人
10. 15%	10. 34%	10. 5%	10. 15%	10. 21%
11. 3	11. 2	11. 2	11. 2	11. 2

(機械化、作業内容の分化等により女子労働者が就いた仕事つづき)

回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄
(1) 1人で2台操作して鋳物の切削加工	(1) 鍛造後のボールの土屋の様なバリを取るため自動旋盤にならべるのみ	(1) アルミニウム鋳物製品の機械加工	(1) 伸縮用の合金ダイスは使用するに従い少しづつ穴が大きくなり、所定の径として使用できなくなった時、穴を少し大きくあけ直して一段上の径のダイスとする2%のものを2.1%とか2.2%に削り直す	(1) 旋削自動機作業(2)で(4)をくりぬいたり切り落したりする
(2) 半自動専用機(旋盤)	(2) 立型旋盤	(2) フライス盤	(2) ダイス修理研削機	(2) 単能旋盤群
(3) スパナ	(3)	(3)	(3)	(3) バイト
(4) 鋳物の粗材	(4) ベアリング鋼	(4) アルミニウム	(4) 超硬合金ダイス	(4) 鋼材
(5) クラッチホイール	(5) ベアリングボール	(5) 自動車部品	(5)	(5) ベアリングリング
2. 人 人 男(40) 女(2)	2. 人 人 男(1) 女(3)	2. 人 人 男(3) 女(5)	2. 人 人 男(3) 女(2)	2. 人 人 男(7) 女(5)
3. 38才から51才まで	3. 35才から40才まで	3. 18才から40才まで	3. 19才から36才まで	3. 16才から23才まで
4. 昭和40年から	4. 昭和41年から	4. 昭和43年から	4. 昭和43年から	4. 昭和43年から
5. 機 械 工	5. バリ取工	5. 機械加工員	5. ダイス工	5. 技 能 職
6. ニ	6. ニ ホ	6. ニ ホ	6. ロ ニ ト(簡単な作業である)	6. ニ ホ
7. イ ハ	7. ハ	7. ロ	7. ヘ (特にしていない)	7. イ ロ ハ
8. 鉄鋳物業	8. ベアリングボール加工	8. 磁石軽合金鋳物	8. 鋼線、鋼索製造	8. 軸受製造業
9. 249人	9. 63人	9. 1,370人	9. 643人	9. 1,280人
10. 13%	10. 69%	10. 19%	10. 4%	10. 32%
11. 2	11. 2	11. 2	11. 2	11. 2

回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄
(1) ダイカスト製品の切削加工、治工具の取り付け取りはずし機械の運転使用測定器具及びゲージ類による加工類の品質チェック	(1) 亜鉛アルミニウム合金のダイカスト製品に孔明けネジたて等の加工をする	(1) 模型製作	(1) プレスにて鉄止め加工、スポット溶接機にて打止め加工をする	(1) ドアロックの部品組立て
(2) 卓上ボール盤 フライス盤	(2) ボール盤、タップ ピングマシン	(2) 鋸盤、カッター ボール盤	(2) ボール盤、ベビー ブラインダー	(2) エアー リベッター
(3) ドリル サイドカッター	(3) ドリル、タップ	(3) のみ、かん	(3) ドリル、木ハン マー	(3) 治具
(4) アルミニウム	(4) 亜鉛、アルミニウム	(4) 木材、アルミ 合金	(4) 鋼板3.2%厚	(4) 鉄板
(5) ダイカスト製品	(5) 自動車部品	(5) 木型、金型	(5) プルドーザー 板金部品	(5) 自動車部品
2. 人 人 男(20) 女(4)	2. 人 人 男(5) 女(16)	2. 人 人 男(52) 女(4)	2. 人 人 男(3) 女(13)	2. 人 人 男(20) 女(18)
3. 19才から40才まで	3. 22才から43才まで	3. 28才から17才まで	3. 27才から43才まで	3. 55才から20才まで
4. 昭和42年から	4. 昭和41年から	4. 昭和42年から	4. 昭和42年から	4. 昭和43年から
5. ボール盤工	5. 加工工	5. 万 案 係	5. 板 金 工	5. 組 立 員
6. ホ	6. ロ ニ ホ	6. ニ ホ ヘ	6. ニ	6. ニ ホ
7. イ ロ ハ	7. ロ ホ	7. ロ ハ ニ	7. ハ	7. イ ロ ハ ニ
8. ダイカスト製品	8. 鋳 物 業	8. 可塑鋳鉄、アルミ合金鋳物製造加工	8. 機械部品製造	8. 亜鉛ダイカスト用金型製作ドアロック製造販売
9. 1,466人	9. 217人	9. 2,261人	9. 66人	9. 257人
10. 17%	10. 51%	10. 7%	10. 33%	10. 13%
11. 2	11. 2	11. 2	11. 2	11. 2

(機械化、作業内容の分化等により女子労働者が就いた仕事つづき)

回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄
(1) 釘の胴部に(2)の機械を使用してらせんをつける	(1) ラッピング作業	(1) 計算機を扱いながら金型で切っていく(仕上の段階)	(1) 歯切	(1) 粗材の切削
(2) ローリング機	(2) ラップ盤	(2) 旋盤の工作機械	(2) フライス面取	(2) 球面加工機
(3)	(3)	(3) 切削工具	(3) カッター	(3) バイト
(4) 鉄線	(4) SMCM	(4) 特殊鋼	(4) リングギヤー	(4) 鋼材
(5) 釘	(5) ピストン	(5) 金型	(5) フライホイール他	(5) 油圧機器部品
2. 人 人 男(40) 女(5)	2. 人 人 男(8) 女(2)	2. 人 人 男(48) 女(6)	2. 人 人 男(20) 女(2)	2. 人 人 男(66) 女(2)
3. 25才から 40才まで	3. 33才から 49才まで	3. 18才から 27才まで	3. 34才	3. 19才
4. 昭和44年から	4. 昭和42年から	4. 昭和44年から	4. 昭和40年から	4. 昭和44年から
5. ローリング工	5. ラッピング工	5. 金型仕上	5. 歯切工	5. 機械工
6. ニ ホ	6. イ ハ ニ	6. ニ	6. ニ	6. ニ
7. イ ハ	7. ロ ハ	7. ロ ニ	7. ハ	7. イ
8. 鉄線、丸釘	8. うず巻ポンプ及装置	8. 電気機械器具製造	8. 自動車部品製造	8. 油圧機器
9. 511人	9. 1,561人	9. 1,242人	9. 842人	9. 195人
10. 30%	10. 3%	10. 49%	10. 4%	10. 2%
11. 2	11. 5	11. 2	11. 6	11. 2

回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄
(1) ホッピングマシンを2台操作し、ウォームギアの歯切り作業をする	(1) ボルトの切削作業	(1) 1人で(2)を1台操作してボーリング作業をする	(1) 部品加工	(1) 自動歯割盤の部品チェック(修理は含まない)
(2) ホッピングマシン	(2) 専用機、ターレット旋盤	(2) ボーリング専用機	(2) 専用機(単能機)	(2) 歯調整
(3) 歯切用ホブ	(3)	(3)	(3) バイト	(3)
(4)	(4)	(4) プーラー部品	(4) 内枠、地板	(4) ウォッチ部品
(5) ウォームギヤ、その他	(5) 六角ボルト	(5) プーラー	(5) ダイアルゲージ	(5)
2. 人 人 男() 女(2)	2. 人 人 男(16) 女(3)	2. 人 人 男(8) 女(1)	2. 人 人 男(5) 女(11)	2. 人 人 男(15) 女(1)
3. 28才から 30才まで	3. 34才から 47才まで	3. 31才	3. 15才から 34才まで	3. 19才
4.	4. 昭和43年から	4. 昭和41年から	4. 昭和42年から	4. 昭和42年から
5. 機械工	5. ターレット係専用機係	5. 機械工	5. 旋盤係	5. 歯割作業
6. ニ(段取りを班長が行なうことにより作業そのものは自動的切削でむづかしいものではないので女子2名に切りかえた)	6. ホ	6. ニ	6. ニ ホ	6. ニ ホ
7. イ ロ ハ	7. イ ロ ハ	7. イ ハ	7. ハ(本人の意志も入れた)	7. ロ
8. 農業機械製造販売	8. 六角ボルト、六角穴付ボルト及び特殊ボルト製造	8. 機械器具製造	8. 精密機械(ダイアルゲージ)	8. 腕時計製造
9. 651人	9. 110人	9. 115人	9. 324人	9. 775人
10. 19%	10. 16%	10. 11%	10. 52%	10. 38%
11. 1	11. 2	11. 3	11. 2(女子の能力は管理部門でも男以上の者もあるが、役付は必要以上の責任をおわせることにもなるので現況は査定等他の面で考慮している)	11. 2

(機械化、作業内容の分化等により女子労働者が就いた仕事つづき)

回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄
(1) 六角削り	(1) オートバイ用小 部品の機械加工 (穴あけ)	(1) 切削加工	(1) 金属加工プレス (5 t) 2 台の抜 作業を一定の指 示にもとづいて 行なう	(1) プレス機械によ る絞り作業
(2) 専用機	(2) 小型ボール盤	(2) 単能機	(2) 5 t プレス	(2) 油圧 30 t プレス
(3) バイト	(3)	(3) バイト	(3)	(3) 絞り型
(4) 軟鋼	(4) アルミ製品	(4) 特殊鋼	(4) 黄銅板 35% もの	(4) 鉄板
(5) 特殊ネジ	(5) オートバイ部品	(5) タベット	(5) 金属部品	(5) ケース
2. 人 人 男() 女(1)	2. 人 人 男(35) 女(4)	2. 人 人 男(50) 女(3)	2. 人 人 男() 女(2)	2. 人 人 男() 女(2)
3. 40才	3. 21才から 41才まで	3. 30才から 45才まで	3. 24才から 35才まで	3. 18才から 35才まで
4. 昭和43年から	4. 昭和43年から	4. 昭和41年から	4. 昭和40年から	4. 昭和41年から
5. 機 械 工	5. 機 械 工	5. 機 械 工	5. 生産第2係員	5. プ レ ス 工
6. =	6. = ホ	6. =	6. = (金型の構造を 女子にもできる ように自動スト ップ装置にした ため抜作業は技 術的に単純化 し、危険性もな く、数量なども 女子で十分でき るため)	6. = ホ
7. ロ ハ	7. イ ロ ハ ニ	7. イ	7. ハ (仕事の内容上 本人がやれると いうのでやらせ たが、結果的に 上記が確保され ているので特別 の配慮はしなかつた)	7. ロ ハ
8. 金属機械器具製 造	8. 輸送用機械器具 製造	8. 自動車部品加工	8. 電気配線器具製 造	8. 通信機器の製造
9. 47人	9. 335人	9. 112人	9. 235人	9. 3,595人
10. 6%	10. 13%	10. 13%	10. 68%	10. 56%
11. 1	11. 3	11. 2	11. 6	11. 2

回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄
(1) 抜加工 (4)の材料から時 計側の形にプレ ス機械を用いて 抜取る	(1) 金属の表面を梨 地状に加工する 仕事	(1) 1人で(2)を1台 操作して自動車 部品を組み立てる	(1) 冷蔵庫の外箱を 2箇所(2)で溶接 する	(1) 自動溶接機の操 作
(2) パワープレス	(2) ホーニング機	(2) スポット溶接機	(2) スポット溶接機	(2) 自動電気溶接機
(3)	(3)	(3)	(3)	(3)
(4) ステンレススチ ール及び黄銅	(4)	(4) 銅板	(4) 鉄板	(4) 銅板
(5) 腕時計側	(5)	(5) 自動車フロント オイルハウス	(5)	(5) 船舶用ロング
2. 人 人 男(15) 女(2)	2. 人 人 男(5) 女(2)	2. 人 人 男(3) 女(1)	2. 人 人 男() 女(5)	2. 人 人 男(40) 女(5)
3. 18才から 21才まで	3. 35才から 50才まで	3. 40才	3. 16才から 17才まで	3. 23才から 40才まで
4. 昭和41年から	4. 昭和43年から	4. 昭和43年から	4. 昭和41年から	4. 昭和43年から
5. プ レ ス 工	5. ホーニング工	5. スポット溶接工	5. 溶 接 工	5. 電 接 工
6. = ハ	6. = (設備投資をし て手作業から自 動化に切替えて 男子を女子に置 き替えた)	6. ホ	6. イ ニ ホ	6. ホ
7. ハ ロ ハ イ	7. ハ (特にしない)	7. (なにもしない)	7. ロ ハ	7. イ ロ
8. 時計側製造	8. 光学部品及び電 気部品の表面処 理加工	8. 自動車々体部品 製造	8. 家庭用電気冷蔵 庫の製造	8. 各種産業機械製 作修理
9. 1,098人	9. 32人	9. 42人	9. 1,111人	9. 293人
10. 55%	10. 26%	10. 6%	10. 46%	10. 8%
11. 1	11. 1	11. 2	11. 1	11. 2

(機械化、作業内容の分化等により女子労働者が就いた仕事つづき)

回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄
(1) 電路取付けの溶接をする	(1) 溶接	(1) 半製品となったタイヤチェーンのクロス及サイドの1コマづつの溶接	(1) 1人1台を操作し倣により(5)を彫刻する	(1) テーキングの刻印
(2) 自動電気溶接機	(2) フラッシュパット溶接	(2) 溶接機	(2) 倣彫刻機	(2) 刻印機
(3)	(3)	(3)	(3)	(3)
(4) 鋼板	(4)	(4) 鉄線	(4) 高速度鋼	(4) Brg外輪
(5) フラットバー電路	(5)	(5) 自動車用タイヤチェーン	(5) ブローチ歯切工具	(5)
2. 人 人 男(17) 女(2)	2. 人 人 男(6) 女(2)	2. 人 人 男(52) 女(6)	2. 人 人 男() 女(2)	2. 人 人 男(20) 女(5)
3. 37才から 26才まで	3. 20才から 30才まで	3. 25才から 42才まで	3. 19才から 45才まで	3. 20才から 30才まで
4. 昭和43年から	4. 昭和43年から	4. 昭和43年から	4. 昭和43年から	4. 昭和44年から
5. 電線ギソー	5. フラッシュパット溶接	5. 溶接作業班	5. 研磨盤工	5. テーキング工
6. 二	6. 二	6. 二 ホ	6. 二 ホ	6. 二
7. ロ	7. ハ	7. イ ロ	7. ロ ハ	7. ロ
8. 鉄工加工業	8. 鉄道車両とアルミサッシドア製造	8. 自動車用タイヤチェーン製造	8. 切削工具の製造	8. 軸受製造
9. 174人	9. 706人	9. 258人	9. 743人	9. 2,147人
10. 11%	10. 18%	10. 35%	10. 15%	10. 15%
11. 1	11. 2	11. 6	11. 1	11. 2

回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄
(1) (5)の部品(金属)について化学処理を行なう メッキ 酸処理 脱脂	(1) コントロールセンター制御盤をモデル配線台を使用して配線組立を行なう	(1) レントゲン発生装置の配電盤の配線	(1) 搬送通信機器のプラグインユニット(プリント板に種々の電気部品を実装したもの)の電気特性の測定	(1) 列車冷房装置の部品、器具の取付け配線
(2) メッキ槽、洗浄器等	(2)	(2) はんだ付装置	(2) 電気計測器	(2)
(3) ピンセット	(3) モデル配線台	(3)	(3)	(3) エアードリル
(4) 銅、鉄、ニッケル	(4) ビニール電線	(4) 電気機械部品	(4)	(4) ビニール電線、マイカルタ
(5) マイクロ波電子管	(5) コントロールセンター、制御盤	(5) レントゲン発生装置制御器	(5) 搬送通信機器	(5) 列車冷房装置
2. 人 人 男(3) 女(3)	2. 人 人 男(131) 女(36)	2. 人 人 男(20) 女(28)	2. 人 人 男(55) 女(13)	2. 人 人 男(25) 女(14)
3. 18才から 19才まで	3. 16才から 33才まで	3. 16才から 47才まで	3. 16才から 26才まで	3. 17才から 25才まで
4. 昭和40年から	4. 昭和43年から	4. 昭和43年から	4. 昭和41年から	4. 昭和42年から
5. 化学処理班	5. 配線組立	5. 製造第2課電機係	5. 機器試験係 プリント板試験	5. 車冷組立
6. ホ	6. 二 ホ	6. 二 ホ	6. ホ	6. 二 ホ
7. イ	7. イ	7. イ ホ	7. イ	7. ロ
8. 各種マイクロ波電子管	8. 電気機械器具製造	8. レントゲン発生装置及び附属品並びに超音波診断装置の製作	8. 通信機器の製造	8. 電動機産業機
9. 269人	9. 5,194人	9. 148人	9. 3,595人	9. 3,400人
10. 24%	10. 12%	10. 39%	10. 56%	10. 8%
11. 2	11. 1	11. 1	11. 2	11. 2

(機械化、作業内容の分化等により女子労働者が就いた仕事つづき)

回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄
(1) 電子計測器の調整、試験、検査	(1) テレビセットの音声及び映像回路の調整	(1) 1人で抵抗帯のΩ測定をし1%厚さの波付をして、血リベットで(2)を使用し絶縁しながらコイルにする。次にテープをはさみECTをまいて組立てる	(1) 購入品の受入検査をする	(1) エポキシ樹脂の含浸作業
(2) 各種電気測定器	(2) 標準発信機	(2) 抵抗巻付機	(2) 電気計測器カーブトレーサー	(2) 真空含浸装置
(3)	(3) 調整棒	(3) 電気ドリル、ヤスリ、ノギス	(3)	(3)
(4)	(4)	(4) 抵抗帯、テフロンテープ	(4) トランジスタダイオード	(4) エポキシ樹脂
(5) 電子計測器	(5) テレビ受像機	(5) ヤンセンSW抵抗	(5)	(5) 車載主電動機用コイル
2. 人 人 男(51) 女(8)	2. 人 人 男(12) 女(2)	2. 人 人 男(4) 女(3)	2. 人 人 男(1) 女(1)	2. 人 人 男(15) 女(4)
3. 18才から 22才まで	3. 19才	3. 19才から 21才まで	3. 20才	3. 18才から 31才まで
4. 昭和40年から	4. 昭和42年から	4. 昭和43年から	4. 昭和43年から	4. 昭和41年から
5. 技術職(試験係、製品検査係)	5. 調整マン	5. スイッチ組立作業員	5. 検査	5. 捲線職
6. ニ ホ	6. ニ	6. ホ	6. ホ ト(有能な女子社員がいた)	6. ホ
7. イ	7. イ	7. ロ	7. イ	7. ロ ニ
8. 電子計測器 電子応用機器	8. テレビビデオモニター DIFコンバータラジ オ、並びに各種電子機 器製造	8. 各種変圧器	8. レーグほか通信 機器	8. 電気機械器具製 造
9. 599人	9. 370人	9. 1,348人	9. 1,945人	9. 977人
10. 53%	10. 37%	10. 16%	10. 14%	10. 20%
11. 1	11. 1	11. 1	11. 1	11. 1

回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄
(1) クランク軸仕組 クランク軸にバ ランスウエイト をセットする	(1) ベアリング自動 組立作業	(1) ベレット、ソー シングマシンに よるベレットの 選別作業と機械 の保守	(1) 光学レンズの成 型機械の操作 自動成型機の最 初と最後の工程 について機械に より型組する	(1) ペンタプリズム を機械にセット できるように、 各機械の治工具 にはさむ
(2) 動力コンベア	(2) ベアリング 自動組立機	(2) ベレットソーシ ングマシン	(2) レンズ自動 成型機	(2)
(3) インパクト レンチ	(3)	(3)	(3)	(3) プリズム治工具
(4) 鍛造品	(4)	(4) ベレット	(4) 光学ガラス	(4) ペンタプリズム
(5) クランク軸	(5) ベアリング	(5)	(5) 光学レンズ 成型品	(5)
2. 人 人 男(10) 女(3)	2. 人 人 男(12) 女(18)	2. 人 人 男(4) 女(17)	2. 人 人 男(10) 女(2)	2. 人 人 男(18) 女(4)
3. 16才から 19才まで	3. 16才から 23才まで	3. 18才から 20才まで	3. 30才から 40才まで	3. 42才から 48才まで
4. 昭和43年から	4. 昭和43年から	4. 昭和43年から	4. 昭和43年から	4. 昭和43年から
5. クランク仕組ライン	5. 技 能 職	5. ベレットソーシ ングマシン作業	5. レンズ成型作業員	5. 荒 摺 工
6. ニ	6. ニ	6. ホ	6. ニ	6. ロ ニ
7. イ ハ	7. イ ロ	7. イ	7. ハ	7. ト
8. ディーゼルエン ジン製造	8. 軸受製造業	8. トランジスタ、 ダイオード整流 素子等	8. 写真レンズの成 型品製造	8. カメラ用レンズ 一眼レフカメラ用ペン タプリズム、ライフル スコープ用レンズ
9. 319人	9. 1,280人	9. 5,626人	9. 46人	9. 241人
10. 28%	10. 32%	10. 86%	10. 44%	10. 35%
11. 1	11. 2	11. 1	11. 2	11. 2

(機械化、作業内容の分化等により女子労働者が就いた仕事つづき)

回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄
(1) 自動計測包装機 の電気配線	(1) (マシン組立) マシン部品を組 合せてネジで締 め次の工程に送 る	(1) 防火雨戸にそれ ぞれの部品を組 付ける	(1) さく岩機の部品 の油圧試験をす る	(1) 1人で(2)を1台 操作して木管の 外装仕上をする
(2)	(2) スラット コンベア	(2) アッセンブリッ ティング	(2) 油圧機	(2) 仕上機
(3)	(3) エアー ドライパー	(3) ブラインド、リベ ットエアーシール	(3)	(3)
(4)	(4) ミシン部品、鉄、 鋳鉄	(4) 雨戸の部品	(4)	(4) 木管荒仕上
(5)	(5) ミシン	(5) 防火雨戸	(5) さく岩機部品	(5) 木管
2. 人 人 男() 女(7)	2. 人 人 男(19) 女(27)	2. 人 人 男(14) 女(4)	2. 人 人 男() 女(2)	2. 人 人 男(10) 女(3)
3. 18才から 40才まで	3. 15才から 28才まで	3. 20才から 45才まで	3. 30才から 45才まで	3. 30才から 35才まで
4. 昭和43年から	4. 昭和40年から	4. 昭和42年から	4. 昭和42年から	4. 昭和43年から
5. 配 線 係	5. 組 立	5. 作 業 員	5. 雑 工	5. 仕 上 工
6. 二	6. 二 ホ	6. ハ ニ ホ	6. 二	6. 二
7. イ	7. ホ	7. ロ ハ	7. ロ	7. イ
8. 自動計測包装機 製造	8. 家庭用ミシン組立 ヘヤードライヤー 組立	8. シャッター防火 雨戸製造販売	8. 機械器具製造	8. 紡糸用木管製造
9. 299人	9. 277人	9. 140人	9. 46人	9. 138人
10. 26%	10. 54%	10. 18%	10. 27%	10. 64%
11. 1	11. 2	11. 2	11. 2	11. 2

回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄
(1) 1人で(3)を使用 し応接椅子の裂 地上張り作業を する	(1) 自動送り装置を 設け2人で(2)を 使い(4)を寸法通 りに切断する	(1) 自動送り装置を 設け2人で(2)を 使い(4)を規定の 形に削り取る	(1) 小割関係製材	(1) 手積み機械積 みにしたためス ウィッチ操作の みになった
(2)	(2) 昇降盤	(2) 面取盤	(2) 帯鋸機	(2) 原板自動積取機
(3) エアー・ タッカー	(3)	(3)	(3)	(3)
(4) 裂地	(4) 木材	(4) 木材(切断した もの)	(4) 木材	(4)
(5) 応接椅子	(5) 家具	(5) 家具	(5) 製材品	(5)
2. 人 人 男(3) 女(2)	2. 人 人 男(4) 女(4)	2. 人 人 男(4) 女(4)	2. 人 人 男(14) 女(2)	2. 人 人 男(3) 女(6)
3. 32才から 31才まで	3. 23才から 50才まで	3. 23才から 50才まで	3. 22才から 30才まで	3. 21才から 30才まで
4. 昭和41年から	4. 昭和41年から	4. 昭和41年から	4. 昭和43年から	4. 昭和43年から
5. 上 張 工	5. 加 工	5. 加 工	5. 職 工	5. 原 板 選 別
6. 二	6. 二	6. 二	6. ロ ハ ニ	6. 二
7. イ	7. ハ	7. ハ	7. イ ロ	7. イ ロ
8. 木製品製造	8. 製 材 業 造 家 具 製 造	8. 製 材 業 造 家 具 製 造	8. 木材、新建材製 造	8. 合 板 製 造
9. 167人	9. 129人	9. 129人	9. 144人	9. 509人
10. 36%	10. 24%	10. 24%	10. 27%	10. 34%
11. 2	11. 1	11. 1	11. 1	11. 2

(機械化、作業内容の分化等により女子労働者が就いた仕事につき)

回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄
(1) 写真植字 タイプライター に似た機械を使 って印画紙に印 字する作業	(1) 写真植字	(1) 合成樹脂成型加 工	(1) プラグ付コード のさしこみ部の モールド作業	(1) 合成樹脂の射出 成型作業
(2) 写真植字機	(2) 写真植字機	(2) 油圧プレス	(2) 射出成型機	(2) 射出成型機
(3)	(3)	(3)	(3)	(3) 成型用金型
(4)	(4)	(4) フェノール樹脂	(4)	(4) 熱可塑性 プラスチック
(5)	(5)	(5) 電機絶縁部品	(5) プラグ	(5) 電子部品のピー ス、パーソ
2. 人 人 男(3) 女(1)	2. 人 人 男(8) 女(6)	2. 人 人 男(22) 女(2)	2. 人 人 男(18) 女(6)	2. 人 人 男(25) 女(5)
3. 20才	3. 21才から 29才まで	3. 37才から 48才まで	3. 17才から 23才まで	3. 18才から 20才まで
4. 昭和43年から	4. 昭和43年から	4. 昭和44年から	4. 昭和42年から	4. 昭和44年から
5. 写 植 係	5. 写真植字工	5. 成 型 工	5. プラスチック員	5. 成 型 工
6. =	6. =	6. =	6. =	6. =
7. イ ハ	7. イ ハ ヘ(職業訓練所高 等工業学校で職 業訓練を受けて きた)	7. =	7. イ ハ	7. イ
8. 印 刷 業	8. 印 刷 製 本	8. 合成樹脂成型加 工	8. 電気機器器具製 造業	8. 電子機器部品の 製造販売
9. 54人	9. 330人	9. 56人	9. 501人	9. 2,189人
10. 29%	10. 16%	10. 29%	10. 23%	10. 51%
11. 2	11. 2	11. 2	11. 2	11. 1

回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄
(1) 1人1台の成型 機を運転してプ ラスチック成型 を行なう	(1) クイヤ成型	(1) ゴム底をそれぞ れの型に裁断す る	(1) 油圧プレスによ る合成ゴム材料 の資材成型	(1) 布靴の布、中底 をそれぞれの型 に裁断する
(2) 圧縮成型機37t 射出成型機1-5オンス	(2) STBマシン	(2) ゴム底裁断機	(2) 電熱式 油圧プレス	(2) 布裁断機
(3) プレヒーター 金型	(3)	(3) ゴム底裁断刃型	(3) スパナ等軽工具	(3) 布裁断刃型
(4) 熱硬化性樹脂	(4) コード、トレッ ドビート	(4) ゴム	(4) 合成ゴム	(4) 綿布
(5) プラスチック製 品電機部品	(5)	(5) クツ底	(5) ゴムパッキング	(5) 布靴部品
2. 人 人 男(32) 女(10)	2. 人 人 男(167) 女(35)	2. 人 人 男(5) 女(3)	2. 人 人 男(13) 女(2)	2. 人 人 男(8) 女(2)
3. 26才から 41才まで	3. 16才から 23才まで	3. 18才から 22才まで	3. 21才から 68才まで	3. 20才から 22才まで
4. 昭和41年から	4. 昭和43年から	4. 昭和44年から	4.	4. 昭和42年から
5. 成 型 工	5. クイヤ成型技能員	5. 裁 断 工	5. 成 型 工	5. 裁 断 工
6. イ ニ ホ	6. =	6. = (機械化により 両手で操作でき るようになり軽 くなった) ヘ(養成中) ホ	6. =	6. = ホ
7. イ ハ ホ	7. イ ロ	7. イ ロ ハ ニ	7. ロ	7. イ ロ ハ ヘ(女子の裁断機 は原反を軽くし 操作しやすくし た)
8. テレビ部品製造 組立、プラスチ ック生産	8. クイヤ、チュー ブ製造	8. ゴム製品製造	8. 電解コンデンサー ゴムパッキング製 造	8. ゴム製品製造
9. 190人	9. 1,491人	9. 1,179人	9. 77人	9. 1,179人
10. 81%	10. 13%	10. 77%	10. 91%	10. 77%
11. 1	11. 2	11. 1	11. 1	11. 1

(機械化、作業内容の分化等により女子労働者が就いた仕事につき)

回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄
(1) 男子1名に対し 女子2名を配し 1組として(2)を 1台操作する	(1) 全自動の(2)を使 ってコンクリー トブロックを製 造する	(1) プレス機械を使 用して厚型スレ ートを製造する	(1) レンガの焼成作 業の一部である。 小型の素地レン ガの台車積作業	(1) プレス
(2) 自動回転式 油圧プレス	(2) ブロック機械	(2) 油圧プレス機械	(2) トンネル キルン台車	(2) ダイナミック プレス
(3)	(3)	(3)	(3)	(3)
(4) アラウンド (砥粒)	(4) モルタル	(4) モルタル	(4) 素地レンガ	(4)
(5) 切断砥石	(5) コンクリート ブロック	(5) 厚型スレート	(5) 耐火レンガ	(5) 珪石煉瓦
2. 人 人 男(1) 女(2)	2. 人 人 男(6) 女(5)	2. 人 人 男(5) 女(10)	2. 人 人 男(32) 女(4)	2. 人 人 男() 女(4)
3. 18才	3. 40才から 45才まで	3. 38才から 45才まで	3. 35才から 50才まで	3. 33才から 45才まで
4. 昭和43年から	4. 昭和44年から	4. 昭和42年から	4. 昭和44年から	4. 昭和43年から
5. 成型補助要員	5. ブロック製造工	5. 製 瓦 工	5. 焼 成 工	5. プ レ ス 工
6. ハ ニ	6. ニ	6. ニ	6. イ ニ ホ	6. ニ ハ
7. ハ	7. ハ	7. ハ	7. イ ロ	7. イ ハ
8. 人造研削砥石の 製造	8. 厚型スレート及 びコンクリート ブロック製造	8. 厚型スレート製 造販売	8. 耐火煉瓦製造販 売	8. 耐火煉瓦、建築 用外装タイル製 造
9. 60人	9. 53人	9. 53人	9. 330人	9. 823人
10. 33%	10. 58%	10. 58%	10. 16%	10. 21%
11. 2	11. 2	11. 2	11. 2	11. 2

回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄
(1) 生産管理分析 (物理化学分析 担当)	(1) 浴場のボイラー 係	(1) 現場ハウスにお ける着到記録法 の記入、生産記 録諸書類の集計 整理	(1) 回転コンベアー による製品回路 において(4)を(2) にひっかける	(1) 鉄骨の塗装作業 (地上のみ)船体 の塗装
(2) 分光光度計 P H 計	(2) 小型重油 ボイラー	(2)	(2) 回転コンベ ア装置機械	(2)
(3)	(3)	(3)	(3)	(3) 刷毛
(4) 化学薬品	(4)	(4)	(4) 鋼板	(4) 塗料
(5) 研削材原料、製 品	(5)	(5)	(5) 安全ベルト止金 塗装	(5) 鉄骨及び船体
2. 人 人 男(16) 女(3)	2. 人 人 男() 女(1)	2. 人 人 男(15) 女(10)	2. 人 人 男(6) 女(7)	2. 人 人 男(2) 女(7)
3. 18才から 19才まで	3. 39才	3. 18才から 25才まで	3. 16才から 57才まで	3. 28才から 52才まで
4. 昭和43年から	4. 昭和42年から	4. 昭和42年から	4. 昭和43年から	4. 昭和42年から
5. 生産管理分析担当	5. 坑外一般員	5. 現 場 書 記	5. 第二係塗装工	5.
6. ニ ホ ハ	6. ハ ニ	6. ホ	6. ニ	6. ハ ニ
7. イ ロ ハ (特別の実験衣、 靴を支給した)	7. ハ	7. イ	7. イ ハ	7. イ ロ
8. 研削材、合金鉄 製造	8. 金銀地金(青金)	8. 鉄精錬、鋳物製 造及び鉄2次製 品加工	8. 各種金属の表面 処理加工及部品 の組立	8. 金属機械工業
9. 1,008人	9. 289人	9. 1,920人	9. 97人	9. 48人
10. 0%	10. 17%	10. 2%	10. 56%	10. 16%
11. 1	11. 2	11. 2	11. 2	11. 2

(機械化、作業内容の分化等により女子労働者が就いた仕事つづき)

回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄
(1) ピアノ線を張る作業	(1) ピアノハンマー切断作業 (1台分にセットされた物を自動機により切断する)	(1) エッチを必要な厚さに研磨する	(1) 段ボールケースに製品を箱詰し梱包する	(1) 成品(丸棒鋼)の結束
(2) 張絨機	(2) 自動切断機	(2) 平面研磨機	(2) 自動梱包機	(2)
(3)	(3)	(3)	(3)	(3)
(4)	(4)	(4)	(4)	(4)
(5)	(5) ピアノハンマー	(5)	(5)	(5) 丸棒鋼
2. 人 人 男(5) 女(5)	2. 人 人 男() 女(1)	2. 人 人 男() 女(1)	2. 人 人 男() 女(2)	2. 人 人 男(3) 女(7)
3. 15才から 23才まで	3. 16才	3. 22才	3. 30才から 50才まで	3. 28才から 43才まで
4. 昭和42年から	4. 昭和44年から	4. 昭和43年から	4. 昭和43年から	4. 昭和40年から
5. 技能職	5. ハンマー切断工	5. エッチ研磨	5.	5. 精 整 工
6. ニ	6. ニ	6. ニ	6. ニ (以前は重労働であったが自動機により軽労働となった)	6. ニ ホ
7. ハ	7. ロ ハ	7. ロ ハ	7.	7. ホ
8. 楽器製造販売	8. 楽器製造	8. スキー製造	8. 京 花 紙	8. 小形丸棒鋼製作
9. 5,283人	9. 1,403人	9. 125人	9. 40人	9. 41人
10. 36%	10. 82%	10. 22%	10. 65%	10. 22%
11. 1	11. 3	11. 2	11. 2	11. 4

(2) 男子の代替として女子労働者が就いた仕事

回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄
(1) 5人作業で行なう索道鉱石受入作業(鉱石の入った搬器を受けとって鉱石貯鉱舎にあける)	(1) 出荷カード整理	(1) LPガス容器証明書を購入先別に梱包して発送する	(1) 上司の指示の下に日報計画等の工程作成、集計業務	(1) 高炉日報、集計、操業解析計算、発電機故障発生件数の統計解析、計算の時間外工数の統計
(2) 王村式架空索道	(2)	(2)	(2)	(2)
(3) 鉱石搬器(バケット)	(3)	(3)	(3)	(3)
(4)	(4)	(4)	(4)	(4)
(5)	(5)	(5)	(5)	(5)
2. 人 人 男() 女(4)	2. 人 人 男(785) 女(4)	2. 人 人 男() 女(2)	2. 人 人 男(13) 女(1)	2. 人 人 男() 女(2)
3. 才から 才まで	3. 18才から 24才まで	3. 23才から 38才まで	3. 36才	3. 20才
4. 昭和41年から	4. 昭和43年から	4. 昭和44年から	4. 昭和42年から	4. 昭和43年から
5. 索道員	5. 荷役職	5. 容器証明発送係	5. 現場事務	5. 製鉄管理職、電気整備技術管理職
6. ロ ト(女子にもできる仕事である)	6. ロ ホ	6. ト(単純作業であるので男子1名の職種転換を行った)	6. イ ロ	6. ロ ホ
7. イ	7. ト	7. ホ	7. ニ	7. イ
8. 金 銀 地 金	8. 鉄 鋼 業	8. 金属製品製造	8. 特殊鋼々材	8. 金属精錬業
9. 289人	9. 7,732人	9. 1,317人	9. 2,042人	9. 16,185人
10. 17%	10. 1%	10. 6%	10. 3%	10. 1%
11. 2	11. 2	11. 2	11. 2	11. 2

(男子の代替として女子労働者が就いた仕事つづき)

回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄
(1) 製品管理事務及び生産統計事務	(1) 材料の受払業務および勤怠管理その他の庶務	(1) 製品をはかりにかけて計量し、作業伝票に記入して集計する	(1) 上司の指示をうけて鋳鋼製品の疵、亀裂等の不良箇所を調査してデーターを作成する	(1) 上司の指示の下に生産予定表、計画表作成および部品の受払、作業の進行状況調査
(2)	(2)	(2)	(2)	(2)
(3)	(3)	(3)	(3)	(3)
(4)	(4)	(4)	(4)	(4)
(5)	(5)	(5)	(5) シャットロール車室	(5)
2. 人 人 男() 女(3)	2. 人 人 男(128) 女(2)	2. 人 人 男() 女(4)	2. 人 人 男(2) 女(4)	2. 人 人 男(32) 女(11)
3. 40才から 48才まで	3. 19才から 23才まで	3. 19才から 23才まで	3. 19才から 24才まで	3. 29才から 19才まで
4. 昭和43年から	4. 昭和43年から	4. 昭和43年から	4. 昭和42年から	4. 昭和40年から
5. 現場事務	5. 水道職	5. 計量事務	5. 現場事務補助員	5. 進行係
6. ロ ホ ヘ	6. ロ ホ	6. ト (女子でも充分 やれるということ がわかった)	6. ロ ヘ	6. ホ
7. ホ ヘ (記帳方法の合 理化)	7. ト	7. イ (製品等につき 充分教育した)	7. ロ ホ	7. イ
8. 鋼板加工	8. 鉄鋼業	8. 鋼及び鋼合金の 板、管、棒、条	8. 金属製品製造業	8. 工作機械、産業 機械、工具測定 器原器製造
9. 104人	9. 7,732人	9. 851人	9. 285人	9. 1,100人
10. 12%	10. 1%	10. 8%	10. 30%	10. 45%
11. 4	11. 2	11. 1	11. 2	11. 1

回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄
(1) 上司の指示に基づいて生産予定表の作成勤怠管理の整理、要員状況の把握	(1) 鉄板のロール出口における受取り	(1) 鋳物製品の検査	(1) 平角線の製造の補助業務	(1) 横送り機にて送り出されてくる製品を整理する作業
(2)	(2) ロール機	(2)	(2) 圧延ロール機	(2) 精整横送機
(3)	(3)	(3) ノギス 面張りゲージ	(3)	(3) 手かぎ
(4)	(4)	(4)	(4) 黄銅線	(4) 鉄
(5)	(5) ステンレス鋼	(5) 鋳物小物	(5) 黄銅平角線	(5) 普通丸棒鋼
2. 人 人 男(9) 女(17)	2. 人 人 男(30) 女(4)	2. 人 人 男(18) 女(2)	2. 人 人 男(2) 女(2)	2. 人 人 男(9) 女(1)
3. 18才から 23才まで	3. 34才から 45才まで	3. 19才から 22才まで	3. 47才から 54才まで	3. 47才
4. 昭和43年から	4. 昭和42年から	4. 昭和43年から	4. 昭和43年から	4. 昭和42年から
5. 現場クラーク	5. 圧延工	5. 中子工	5. 圧延工	5. 精整工
6. ロ ホ	6. ロ ニ	6. ロ ニ	6. ロ	6. ハ
7.	7. ハ	7. イ	7. ヘ (圧延工経験者 として採用)	7. ニ
8. 合成繊維 合成樹脂製造	8. ステンレス鉄板 圧延加工	8. 鉄 鉄 鋳 物	8. 伸銅業 (黄銅線、 黄銅線の製造)	8. 鋼塊及び普通丸 棒鋼
9. 3,042人	9. 47人	9. 361人	9. 145人	9. 165人
10. 0%	10. 10%	10. 17%	10. 12%	10. 1%
11. 2	11. 2	11. 6	11. 4	11. 4

(男子の代替として女子労働者が就いた仕事につき)

回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄
(1) 薄鉄板を規定寸法に切断する	(1) 水栓金具の生地研磨	(1) パイプ切断 リードローラー 孔明及び端削	(1) 工作機械操作による金属材の加工作業	(1) 形削加工
(2) シャー	(2) レース台 (研磨機)	(2) 旋盤	(2) ボール盤, 研削盤	(2) グーレット旋盤
(3)	(3)	(3) バイト, 平頭	(3)	(3)
(4)	(4) 水栓金具	(4) パイプ	(4)	(4)
(5) ドラム罐胴板	(5)	(5) もみすり機部品	(5)	(5)
2. 人 人 男(1) 女(1)	2. 人 人 人 男() 女(16)	2. 人 人 人 男(12) 女(1)	2. 人 人 人 男(163) 女(3)	2. 人 人 人 男(4) 女(1)
3. 33才	3. 27才から 48才まで	3. 46才	3. 34才から 57才まで	3. 38才
4. 昭和44年から	4. 昭和42年から	4. 昭和42年から	4. 昭和43年から	4. 昭和43年から
5. 切 断 工	5. 研 磨 工	5. 旋 盤	5. 機械工作職	5. 切 削 班
6. □	6. □	6. □	6. □ イ □	6. □
7. イ □	7. ホ	6. イ □ ハ	7. イ □	7. ハ
8. ドラム罐の製造	8. 水栓金具の鉋金加工	8. 農業用機械の部品加工及組立	8. 船舶建造改修	8. 自動車部品製作
9. 47人	9. 174人	9. 73人	9. 5,499人	9. 48人
10. 31%	10. 38%	10. 37%	10. 1%	10. 15%
11. 2	11. 2	11. 2	11. 1	11. 2

回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄
(1) 研削加工	(1) プレス機で薄鋼板を打抜く作業	(1) アルミサッシの型材を15, 30トンプレスでプレスする	(1) プレス機によるうす板の絞り加工	(1) カービーターのカバーにこまかい部品を取り付ける。コンベヤーにのせる分業
(2) センターレース ブラインダー	(2) プレス機	(2) 15, 30トンプレス機	(2) クッション プレス	(2) スポット溶接機
(3)	(3)	(3)	(3)	(3)
(4)	(4) 薄鋼板	(4)	(4) 鋼板	(4) 鉄板(0.8%)
(5)	(5) 建築用角座金	(5) サッシドア	(5) コイルケース	(5) カービーターのカバー
2. 人 人 人 男(3) 女(1)	2. 人 人 人 男(2) 女(3)	2. 人 人 人 男(8) 女(3)	2. 人 人 人 男(10) 女(9)	2. 人 人 人 男(44) 女(21)
3. 42才	3. 40才から 49才まで	3. 25才から 41才まで	3. 38才から 57才まで	3. 21才から 45才まで
4. 昭和41年から	4. 昭和41年から	4. 昭和48年から	4. 昭和42年から	4. 昭和41年から
5. ボルト班	5. プレス工	5.	5. 深絞り工	5. 組立工
6. □	6. □ ハ	6. ト(部分的に忙しいので応援のため)	6. ハ ニ ホ	6. □
7. ニ	7. イ ハ	7. □	7. □ ハ	7. ホ
8. 自動車部品製作	8. 鋼板切断プレス 建築業	8. 金属製品製造	8. 自動車部品製造	8. 自動車部品(カービーター)製造
9. 48人	9. 62人	9. 902人	9. 97人	9. 256人
10. 15%	10. 17%	10. 26%	10. 36%	10. 33%
11. 2	11. 2	11. 2	11. 2	11. 2

(男子の代替として女子労働者が就いた仕事つづき)

回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄
(1) 視覚による溶接棒の抜取検査	(1) 幾把にもなっている線を1つのドラムに巻き返す	(1) コイルの線径計測及び伸び、ショートチェック	(1) オートバイのフロントウィンカー取付作業	(1) 自動車用部品の入出庫チェック、各部門の工程進行状況をつかみ得意先への連絡をとる
(2)	(2) 原線巻返し機	(2) 伸び試験機	(2)	(2)
(3)	(3) はさみ	(3) マイクロメーター	(3)	(3)
(4)	(4) 鋼線	(4) コイル	(4)	(4)
(5)	(5)	(5) コイル	(5) オートバイ	(5) リヤアクスルその他
2. 人 人 男(3) 女(3)	2. 人 人 男(2) 女(1)	2. 人 人 男(4) 女(1)	2. 人 人 男() 女(1)	2. 人 人 男(4) 女(2)
3. 20才から 21才まで	3. 30才	3. 19才	3. 19才	3. 25才から 31才まで
4. 昭和41年から	4. 昭和44年から	4. 昭和43年から	4. 昭和43年から	4. 昭和42年から
5. 溶接棒検査職	5. 原線巻	5. 巻線課検査係	5. 現業職	5. 部品管理係
6. イ ロ	6. ロ	6. ロ ハ	6. ロ ニ	6. ロ ホ
7. イ	7. イ	7. ロ	7. ヘ (なにもしない)	7. ホ
8. 金属精練業	8. 通信用ビニール電線製造	8. 電線及び塩化ビニールコンパウンド	8. オートバイ、軽四輪車製造	8. 各種自動車用部品製造
9. 16,185人	9. 192人	9. 347人	9. 7,140人	9. 764人
10. 1%	10. 70%	10. 6%	10. 8%	10. 6%
11. 2	11. 2	11. 2	11. 6	11. 4

回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄
(1) 薬品検査(自動車部品検査)	(1) トラックのボデーに木板を釘で打った後釘の頭をハンマーでよく木の中へ打込む仕事	(1) ボルトにスプリングワッシャーをはめる作業(ライン作業ではない)	(1) シャッターの速度調整作業を行なう	(1) ガスメーターの容量試験
(2)	(2)	(2)	(2) ドラム式試験器	(2) 湿式ガスメーター基準器
(3)	(3) ハンマー	(3)	(3) ドライバー ス パ ナ	(3)
(4)	(4)	(4)	(4)	(4)
(5)	(5)	(5)	(5) カメラ	(5)
2. 人 人 男(5) 女(4)	2. 人 人 男(9) 女(5)	2. 人 人 男() 女(2)	2. 人 人 男(8) 女(4)	2. 人 人 男(12) 女(5)
3. 33才から 45才まで	3. 37才から 55才まで	3. 18才から 23才まで	3. 16才から 20才まで	3. 18才から 30才まで
4. 昭和43年から	4. 昭和42年から	4. 昭和43年から	4. 昭和44年から	4. 昭和41年から
5. 検査工	5. 車体組立工	5. 直接員	5. シャッター調整係	5. 試験工
6. ト(根気よく、感のよさの長所を活用するため、軽作業であるので、男子を就けるのはもったいない)	6. ト(木材を使う作業を男子がきらくため補充の意味で使った)	6. イ ハ	6. イ ロ	6. ロ ニ
7. ヘ (特にしない)	7. ヘ	7. ホ	7. イ	7. ロ ハ
8. 機械器具製造	8. 自動車各体製作並修理	8. 自動車製造	8. カメラ、レンズ事務機の製造	8. 精密機械工業
9. 413人	9. 136人	9. 7,423人	9. 2,578人	9. 357人
10. 4%	10. 4%	10. 3%	10. 72%	10. 28%
11. 6	11. 2	11. 2	11. 1	11. 2

(男子の代替として女子労働者が就いた仕事つづき)

回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄
(1) 研磨機を5台操 作してレンズを 研磨する	(1) カメラ部品の加 工で部品を平面 にけずる作業	(1) サーミスタ感熱 部ホルダーの加 工	(1) イモノ機械棒の 補助	(1) 研磨皿をあた めてこれにレン ズを張りつける
(2) 研磨機	(2) フライス盤	(2)	(2)	(2) ガス台
(3)	(3)	(3) ハンドゴテ	(3)	(3) 焼皿、押皿
(4) レンズ材	(4) アルミパイプ	(4) ステンパイプ、テ フロンチューブ	(4) イモノ砂	(4) レンズ機
(5)	(5) カメラ部品	(5) サーミスタ計器 感熱部	(5) 台秤の台	(5)
2. 人 人 男(5) 女(2)	2. 人 人 男(8) 女(7)	2. 人 人 男(3) 女(20)	2. 人 人 男(1) 女(1)	2. 人 人 男(1) 女(1)
3. 15才	3. 18才から 32才まで	3. 18才から 45才まで	3. 23才	3. 21才
4. 昭和44年から	4. 昭和42年から	4. 昭和42年から	4. 昭和44年から	4. 昭和43年から
5. 研 磨 工	5. フライス工	5. 製造部感熱部	5. イモノ補助員	5. 焼 付 工
6. ロ ト	6. ロ ニ	6. ロ ハ (但しこの女子 の人数はパート タイマーを充当)	6. ロ ニ ト (男子の絶対的 採用不能のため)	6. ロ ニ ト (当社の全作業は 男女いずれでもで きるものであるが 従来この職種は男 子のみ配置してい たのでいつの間 にか男子職場と思わ れるようになった ことを是正するた め)
7. イ ハ ニ	7. ヘ	7. ヘ (別に何もして いない)	7. ニ (入浴設備をし て不潔感をなく す)	7. イ
8. カメラ、テレビ 用レンズ製造	8. 光学機器製造	8. サーミスタ計測 器製造販売	8. 計量器製造	8. カメラ、テレビ 用レンズ製造
9. 40人	9. 168人	9. 142人	9. 131人	9. 40人
10. 56%	10. 34%	10. 14%	10. 39%	10. 56%
11. 3	11. 6	11. 2	11. 2	11. 3

回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄
(1) 電気部品を組み 立て、配線、ハ ンド付けを行な う	(1) エアコンにサー モスタット圧力 計等の電気部品 を取りつけ(6)を 組み立てる	(1) 農業機械器具の 部品組立	(1) ミシン組立準備 工程	(1) 冷蔵庫の修理組 立作業を行なう
(2) ハンドゴテ、ドラ イバー、ペンチ	(2) 電装品取付配線 作業	(2)	(2) 手作業	(2) 部品
(3)	(3) グライNDER	(3) スパナ	(3)	(3)
(4)	(4) 電装品	(4)	(4)	(4) 鋼板
(5) 制御盤	(5) エアコン	(5)	(5) ミシン機	(5)
2. 人 人 男(15) 女(30)	2. 人 人 男(18) 女(4)	2. 人 人 男() 女(59)	2. 人 人 男(56) 女(44)	2. 人 人 男(10) 女(19)
3. 21才から 53才まで	3. 16才から 27才まで	3. 18才から 45才まで	3. 16才から 44才まで	3. 30才から 49才まで
4. 昭和42年から	4. 昭和42年から	4. 昭和43年から	4. 昭和41年から	4. 昭和40年から
5. 配線組立工	5. 組 立 工	5. パート及び組立工	5. ミシン組立係	5. 組 立 工
6. ロ ニ ホ	6. ロ ニ ホ	6. ハ ニ ホ	6. ハ ニ ホ	6. ハ ト (女子でできる 簡単な作業のた め)
7. ロ ハ ニ ホ	7. イ ロ	7. ロ ホ (パートのみ)	7. ヘ (熟練男子1人 の仕事女子2 人に切替)	7. ロ ホ
8. エレベーター エスカレーター	8. 冷房装置製造	8. 機械器具製造	8. ミシン機及びネ ジ製造	8. 自吸式ポンプ 理容椅子、冷蔵 庫修理、油圧機 器製造装置
9. 490人	9. 840人	9. 2,641人	9. 355人	9. 683人
10. 25%	10. 12%	10. 5%	10. 30%	10. 22%
11. 2	11. 2	11. 2	11. 2	11. 2

(男子の代替として女子労働者が就いた仕事つづき)

回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄
(1) 掘削機各種部品の木工機械の取り付け作業	(1) 調整ライン組立てられた燃料噴射ポンプの噴射量及び噴射時期の調整	(1) 自動塗貼機の紙差しを男子だけでやっていたが女子を入れ2人1組で機械をうごかす	(1) オフセット印刷の製版工程でフィルム of 修正及び製版用焼付フィルムの貼込み作業	(1) 大型自動製袋機を使用し、セロファン袋を製造する
(2) ムラ取機等	(2) ポンプテスター	(2) 自動塗貼機	(2)	(2) 自動製袋機
(3) ナシ	(3)	(3)	(3)	(3)
(4) 木材	(4)	(4) 印刷物フィルム	(4) 筆、セロテープ	(4)
(5) 初摺機	(5) 燃料噴射ポンプ	(5) ポリプロ貼	(5)	(5)
2. 人 人 男(2) 女(5)	2. 人 人 男(103) 女(27)	2. 人 人 男(6) 女(5)	2. 人 人 男(15) 女(6)	2. 人 人 男(2) 女(2)
3. 20才から 50才まで	3. 16才から 25才まで	3. 18才から 27才まで	3. 19才から 24才まで	3. 19才から 20才まで
4. 昭和42年から	4. 昭和41年から	4. 昭和42年から	4. 昭和43年から	4. 昭和44年から
5. 木工工作	5. 調 整	5. 紙 差 工	5. 修正、貼込職	5. ナ シ
6. イ ロ ハ	6. ロ ニ	6. ロ ニ ト(女子社員の中で器用なものがいたのでやらせてみた)	6. ロ ホ	6. ロ ハ
7. ロ ハ	7. イ	7. イ(仕事が簡単のため男子が1人ついて機械になれるよう訓練した)	7. なにもしない	7. イ
8. 農機具製造	8. 燃料噴射ポンプ、クーラー	8. 印刷物輸出加工	8. 総合印刷業	8. セロファン印刷スリッター、製袋
9. 254人	9. 4,900人	9. 32人	9. 739人	9. 45人
10. 18%	10. 22%	10. 40%	10. 11%	10. 28%
11. 2	11. 1	11. 2	11. 2	11. 2

回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄
(1) 大型射出成型機にてプラスチック製品をつくる	(1) プラスチック射出成型	(1) プラスチック成型	(1) 一次で生産されたポリプロピレンを縄にする二次工程作業	(1) 棒状に巻かれているテープを輪切りにする
(2) 射出成型機	(2) 射出成型機	(2) 射出成型機	(2) 二軸延伸機	(2) 半自動切断機
(3)	(3)	(3)	(3)	(3)
(4)	(4) スチロールポリエチレン	(4)	(4) 材木の結束ひも	(4) セロハン
(5) プラスチック製品	(5) ボールペン部品	(5) プラスチック製品	(5) PP 縄	(5) 印刷テープ
2. 人 人 男(60) 女(2)	2. 人 人 男(14) 女(12)	2. 人 人 男(18) 女(4)	2. 人 人 男(2) 女(2)	2. 人 人 男(2) 女(1)
3. 26才から 27才まで	3. 17才から 41才まで	3. 24才から 47才まで	3. 18才から 35才まで	3. 34才
4. 昭和43年から	4. 昭和43年から	4. 昭和42年から	4. 昭和44年から	4. 昭和43年から
5. 成型工	5. 成型工	5. 女子成型員	5. 加工係	5. 印刷切断者
6. ロ(43年まで男子の分野だったが人材不足で女子をつけた。機械も操作が簡単になった) ニ	6. イ ロ ハ	6. ロ(自動化したため男子の必要はなく、定時間だけ女子に運転させる)	6. ロ ニ	6. ホ
7. イ ロ ホ(この種作業は、男子は3交待制であるが、女子は普通社員並(8~17)にしている)	7. ハ	7. ハ ホ	7. ロ ハ	7. ハ ヘ(女子生産手当として月額50円を支給するようにした)
8. プラスチック製造	8. ボールペン部品	8. プラスチック製品、成型加工	8. ポリプロピレン製	8. ポリコン、ポリロン製造
9. 260人	9. 70人	9. 44人	9. 63人	9. 207人
10. 30%	10. 60%	10. 45%	10. 39%	10. 34%
11. 2	11. 2	11. 2	11. 2	11. 2

(男子の代替として女子労働者が就いた仕事につき)

回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄
(1) 印刷シートの成型位置合せ	(1) 1人で(2)を1台操作して電話機の筐体を成形する	(1) ボトルケースのバリ取り	(1) 耐火煉瓦の成型をプレスで行う、小型の分のみ担当させる	(1) プレス
(2) 自動連続真空成型機	(2) 油圧式圧縮機	(2)	(2) 小型プレス	(2) フリクションプレス
(3)	(3)	(3) ナイフ	(3)	(3)
(4) 塩化ビニールフィルム	(4) フェノール樹脂	(4) 塩ビ	(4)	(4)
(5) トミカップ(サンカップ)	(5) 4号電話機筐体	(5) キリンボトルケース	(5) 耐火煉瓦半製品	(5) タイル
2. 人 人 男(28) 女(3)	2. 人 人 男(20) 女(2)	2. 人 人 男(5) 女(3)	2. 人 人 男(40) 女(5)	2. 人 人 男() 女(3)
3. 18才から47才まで	3. 42才から38才まで	3. 28才から41才まで	3. 25才から40才まで	3. 33才から41才まで
4. 昭和41年から	4. 昭和42年から	4. 昭和44年から	4. 昭和41年から	4. 昭和42年から
5. 男=成型工 女=成型助手	5. 女子圧縮成形係	5. バリとり作業職	5. 女子プレス ハンドル作業	5. プレス工
6. イ ニ ト(男子を夜勤にまわし女子を昼間使うようになった)	6. ニ ロ	6. ハ ホ	6. ロ ニ	6. ハ ヘ
7. ホ	7. ハ ニ ホ	7. ホ	7. イ	7. イ ロ
8. 塩化ビニール 軽量容器製造	8. プラスチック製品製造	8. プラスチック製品製造	8. 耐火煉瓦製造	8. 耐火煉瓦、外装 用タイル製造
9. 103人	9. 122人	9. 2,050人	9. 281人	9. 823人
10. 55%	10. 35%	10. 12%	10. 31%	10. 21%
11. 2	11. 6	11. 2	11. 2	11. 2

回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄
(1) プラスチック選 搬箱の印刷	(1) 皮スキ	(1) 硝子ビン成型	(1) 石灰石を粉砕機で粉砕したものを袋詰機で30kg~20kgつめる作業	(1) 生コンをコンクリートの型枠の中へ投入し、コンクリートブロックを作る
(2) 印刷機	(2) スモリバ	(2) 半自動製ビン機	(2) 袋詰機	(2)
(3) 糊塗りローラー	(3)	(3)	(3)	(3) スコップ
(4) インキ及シンナー	(4) 皮革	(4)	(4)	(4) 砂、水、セメント
(5) ビール等選搬箱	(5) 革靴	(5) 硝子瓶	(5) 炭酸カルシウム	(5) コンクリートブロック
2. 人 人 男(2) 女(22)	2. 人 人 男(6) 女(2)	2. 人 人 男(3) 女(3)	2. 人 人 男(28) 女(2)	2. 人 人 男(30) 女(16)
3. 19才から47才まで	3. 18才から21才まで	3. 42才から55才まで	3. 30才から35才まで	3. 30才から55才まで
4. 昭和42年から	4. 昭和42年から	4. 昭和40年から	4. 昭和43年から	4. 昭和43年から
5. ナ シ	5. 皮 ス キ	5. 型 押 工	5. 製 粉 工	5. 施 工 班
6. イ ロ ニ	6. ハ ロ	6. ロ	6. ハ ホ	6. ロ
7. とくになし	7. イ ロ	7. ヘ(成型だけをやらせて機械の整備や型の手入れなどはやらせない)	7. ロ ホ	7. ロ
8. 工業用ゴム製品製造	8. 紳士革靴製造	8. 硝子ビンの製造	8. 石灰石粉末製造	8. コンクリートブロック製造販売
9. 760人	9. 314人	9. 34人	9. 91人	9. 114人
10. 20%	10. 47%	10. 23%	10. 8%	10. 32%
11. 2	11. 2	11. 2	11. 4	11. 2

(男子の代替として女子労働者が就いた仕事につき)

回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄
(1) 炭酸カルシウム 乾燥促進作業木 製の簡単な用具 で攪拌する	(1) 設計製図	(1) 上司の指示によ り公害関係のテ スト及びバクテ リアの培養、一 般的な化学試験 をおこなう	(1) 石炭・コークス 関係の硫黄分、 発熱量の測定、 ベンゾール類の 水分、比重、純 度の測定	(1) 定型的な原料製 品の化学分析
(2)	(2)	(2)	(2)	(2) 乾燥器、電熱器
(3)	(3)	(3)	(3)	(3)
(4)	(4)	(4)	(4)	(4)
(5) 炭酸カルシウム	(5)	(5)	(5)	(5) 炭材、合金
2. 人 人 男(4) 女(2)	2. 人 人 男(166) 女(6)	2. 人 人 男(41) 女(2)	2. 人 人 男(68) 女(13)	2. 人 人 男(8) 女(9)
3. 35才から 43才まで	3. 22才から 17才まで	3. 19才から 21才まで	3. 39才から 18才まで	3. 18才から 22才まで
4. 昭和43年から	4. 昭和43年から	4. 昭和44年から	4. 昭和42年から	4. 昭和44年から
5. 攪拌作業員	5. 現図及び設計工	5. 試験係	5. 分析係	5. 分析係
6. ロ ハ(賃金は安い が作業能率の点 でおちるため作 業量に対する支 払賃金はあまり かわらない)	6. イ ロ ヘ ト(昇進管理上 女子の方がリ タイヤーがあ るため問題が 少なくてすむ)	6. ホ	6. ホ ヘ	6. ホ(女子にも十 分できる)
7. ロ	7. イ	7. ロ	7. イ ロ ハ ニ	7. イ ロ
8. 炭酸カルシウム 製	8. 造船、修理	8. 石油化学業	8. コークス、ベン ゾール類製造	8. カーバイト、合 金鉄製造
9. 160人	9. 1,382人	9. 623人	9. 923人	9. 687人
10. 2%	10. 1%	10. 1%	10. 18%	10. 0%
11. 5	11. 2	11. 4	11. 2	11. 4

回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄
(1) 品質試験係製品 及び日常操業に 必要な原料、副 資材の試験、分 析	(1) 金属部品光学塗 装(吹付)	(1) ボデーをツート ンに塗る場合の 紙はり及び塗装 工程最終チェッ ク	(1) 吹付塗装	(1) 合成樹脂の成型 及び仕上加工
(2)	(2) 吹付塗装装置	(2)	(2) スプレーガン 排気扇	(2) 合成樹脂成型機
(3)	(3) スプレーガン ペーパーヤスリ	(3)	(3)	(3)
(4)	(4) 塗料、有機溶剤	(4)	(4) アミノアルキ ド樹脂塗料	(4)
(5)	(5) カメラ	(5)	(5) 家具	(5) 楽器部品
2. 人 人 男(1) 女(5)	2. 人 人 男(30) 女(20)	2. 人 人 男() 女(3)	2. 人 人 男(3) 女(1)	2. 人 人 男(24) 女(25)
3. 18才から 19才まで	3. 18才から 25才まで	3. 19才から 38才まで	3. 35才から 53才まで	3. 16才から 18才まで
4. 昭和44年から	4. 昭和43年から	4. 昭和43年から	4. 昭和42年から	4. 昭和43年から
5. 試験係	5. 特につけない 差別意識をなくすため	5. 準直接員	5. 吹付	5. 成型仕上職
6. ロ ホ	6. ロ ト(女子作業 者の意識向上)	6. イ ロ ハ	6. ロ ハ ヘ	6. ニ ト(この職場は二 交替制であるた め男子を使用し ていたが女子寮 を完備したので 女の使用が可能 になった)
7. ホ ヘ(従来試験係 であった男子に 約3週間引継ぎ の指導をさせた)	7. ヘ(本人の意志 により就労)	7. ロ ホ	7. イ ロ ハ	7. イ ロ ハ
8. 段ボール用中芯 原紙	8. カメラ、レンズ その他光学機器 製造	8. 自動車製造	8. 家具製造	8. 楽器製造業
9. 298人	9. 1,230人	9. 7,423人	9. 92人	9. 1,403人
10. 4%	10. 44%	10. 3%	10. 59%	10. 82%
11. 2	11. 3	11. 2	11. 6	11. 3

(男子の代替として女子労働者が就いた仕事つづき)

回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄
(1) ピアノケースの ペーパーかけ	(1) 音楽器部品を作 る旋盤作業	(1) 工具の運搬切り この回収	(1) 金属製品の梱包 作業	(1) 荷造(補助)
(2)	(2) 旋盤	(2)	(2) 封緘機	(2)
(3)	(3)	(3)	(3) 金切ばさみ	(3)
(4) ピアノケース	(4)	(4)	(4) 鉄紙、木材	(4)
(5)	(5)	(5) 自動車	(5) 鉄製品	(5)
2. 人 人 男(12) 女(1)	2. 人 人 男(30) 女(10)	2. 人 人 男() 女(7)	2. 人 人 男() 女(15)	2. 人 人 男(4) 女(2)
3. 43才	3. 18才から 25才まで	3. 20才	3. 25才から 45才まで	3. 25才から 35才まで
4. 昭和43年から	4. 昭和43年から	4. 昭和42年から	4. 昭和43年から	4. 昭和44年から
5. 木機一課	5. 技能職	5.	5. 梱包職	5. 倉庫出荷部
6. ハ	6. ハ ホ	6. ホ	6. ロ ホ ヘ	6. ロ
7.	7. ロ	7. ロ	7. イ ロ ハ ニ	7. ロ
8. 楽器製造業	8. 楽器の製造販売	8. ディーゼル機関	8. 金属製品製造 又は金属加工	8. 各種動力ポンプ 製作
9. 254人	9. 5,283人	9. 910人	9. 407人	9. 82人
10. 30%	10. 36%	10. 11%	10. 19%	10. 3%
11. 2	11. 1	11. 1	11. 1	11. 2

回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄
(1) 分類工程 抵抗器を抵抗値 別に分類する	(1) 守衛所受付	(1) 昼間守衛 (来客受付業務)	(1) 警備受付 AM8:30~PM 5:00勤務時間中 の警備所の受付	(1) 基本設計業務
(2) 抵抗器自動 分類機	(2)	(2)	(2)	(2)
(3) ラジオペンチ	(3)	(3)	(3)	(3)
(4) ソリッド抵抗器	(4)	(4)	(4)	(4)
(5)	(5)	(5)	(5)	(5)
2. 人 人 男(1) 女(5)	2. 人 人 男(9) 女(2)	2. 人 人 男(3) 女(1)	2. 人 人 男() 女(2)	2. 人 人 男(26) 女(4)
3. 45才から 58才まで	3. 18才	3. 23才	3. 20才から 22才まで	3. 20才から 23才まで
4. 昭和42年から	4. 昭和44年から	4. 昭和41年から	4. 昭和43年から	4. 昭和43年から
5. 分類工	5. 案内係	5. 受付	5. 庶務係受付	5. 設計係員
6. ハ ニ	6. ホ	6. ホ ト(受付業務とし て女子の方が相 応している)	6. ト(従来は男子警 備員が日中の警 備受付を行って いたが女子でも 充分できるため 又男子は本来の 夜間警備を重点 的に往々せる為 女子にきりかえ た)	6. ロ ハ ホ
7. ハ	7. ホ(口動のみにし ている)	7. ホ	7. ヘ	7. イ(入社時、配 属後の短期教育 と先輩男子係員 の補助としてつ け、マンツーマ ン教育とによる)
8. ソリッド抵抗器	8. アルミ建具、サ ッシューケー ス、家庭日用品	8. 圧力計	8. 光学機器、電気 機器製造	8. アルミニウム 製品加工会社
9. 85人	9. 739人	9. 176人	9. 693人	9. 1,144人
10. 88%	10. 32%	10. 29%	10. 51%	10. 8%
11. 3	11. 2	11. 3	11. 1	11. 2

(4) そのほか女子労働者の就労が目新しい仕事

回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄
(1) 比較的簡易な機械部品設計	(1) 営業部員 販売、市場調査 料理方法(宣伝) ディスプレイ等	(1) モノタイプを操作して原稿をみながらキーを打つと自動的に活字となつて出る、文選と活字鑄造を同時にする	(1) 漢字テレタイプパンチャー	(1) 新聞記事をタイプする
(2)	(2)	(2) モノタイプ機	(2) テレタイプ	(2) さん孔機
(3)	(3)	(3)	(3)	(3)
(4)	(4)	(4)	(4)	(4)
(5)	(5)	(5)	(5)	(5) 全自動モノタイプ
2. 人 人 男(31) 女(4)	2. 人 人 男(25) 女(2)	2. 人 人 男(2) 女(1)	2. 人 人 男(8) 女(1)	2. 人 人 男(20) 女(6)
3. 18才から 19才まで	3. 18才から 25才まで	3. 19才	3. 38才	3. 20才から 22才まで
4. 昭和43年から	4. 昭和44年から	4. 昭和41年から	4. 昭和44年から	4. 昭和42年から
5. 生産技術課員	5. 営業部員	5. モノタイプ工	5. 漢字テレタイプパンチャー	5. 漢字テレタイプパンチャー
6. イ	6. ヘ	6. ニ ヘ(その後、騒音になれない、同性が少ない等の理由で退職し44年現在就労者がいない)	6. ヘ	6. ロ
7. ヘ(高校の専門課程修了者を採用した)	7. イ	7. ロ	7. ホ	7. イ
8. 人絹パルプの製造	8. 食肉加工業	8. 活版印刷、製本業	8. 日刊新聞編集印刷発行販売業	8. 日刊新聞発行
9. 702人	9. 320人	9. 72人	9. 232人	9. 692人
10. 3%	10. 62%	10. 6%	10. 0%	10. 6%
11. 1	11. 1	11. 2	11. 4	11. 4

回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄
(1) 鋳物造型作業	(1) 油圧プレスによるカメラケース前面の成型	(1) 超高圧油圧ホースワイヤー編組工程	(1) 船殻ブロックの地上溶接	(1) (4)を(2)で切断する
(2)	(2) 油圧プレス	(2) ワイヤード プレード	(2) 自動電気溶接機	(2) 自動ガス切断機
(3) スコップ、コテ	(3)	(3) ニッパ	(3)	(3) 片手ハンマーポンチ、ケガキ
(4) 砂、木型	(4) 皮革	(4)	(4) 鋼板	(4) 熱間圧延鋼板
(5) モーター用鋳物	(5) カメラ	(5) ワイヤード ホース	(5)	(5) 変圧器部品
2. 人 人 男(49) 女(1)	2. 人 人 男(4) 女(1)	2. 人 人 男(4) 女(3)	2. 人 人 男(1,282) 女(8)	2. 人 人 男(6) 女(3)
3. 47才	3. 30才	3. 22才から 27才まで	3. 39才から 51才まで	3. 29才から 34才まで
4. 昭和42年から	4. 昭和44年から	4. 昭和42年から	4. 昭和41年から	4. 昭和43年から
5. 造 型	5. 仕 上 係	5. ワイヤード 工員	5. 電気溶接工	5. ガス切断作業員
6. ヘ	6. ヘ	6. ヘ (当初は7人つけてみたが理解能力の差をどうしてもカバーできず、また無理もきかないので男子に戻しつつある)	6. ト(会社の合理化により用役部門(食堂、社倉等)を切り離したため現場へ配置替した)	6. ホ
7. ヘ	7. ロ	7. イ	7. イ ロ ハ ニ	7. ロ
8. 電気ホイスト 鋳造業	8. ラジオカメラ ケース製造	8. コンベヤベルト ホース製造販売	8. 船舶の建造修理	8. 各種変圧器
9. 342人	9. 59人	9. 966人	9. 11,062人	9. 1,348人
10. 20%	10. 63%	10. 33%	10. 3%	10. 16%
11. 1	11. 2	11. 3	11. 1	11. 1

(そのほか女子労働者の就労が目新しい仕事につき)

回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄
(1) ガス切断	(1) (2)を操作して鋼板を所定の形、寸法に切断する	(1) 男子の先手となって(4)を製作する	(1) マーキン	(1) プレハブ冷蔵庫の部品組立
(2) 自動ガス切断機	(2) ウィーゼルガス切断機	(2)	(2) 原図	(2)
(3) #	(3)	(3) ハンマーヤスリ	(3)	(3)
(4) 鉄板	(4) 鋼板	(4) ジュラルミン板	(4) 鋼板	(4)
(5) #	(5)	(5) 航空機部品	(5)	(5) 冷蔵庫
2. 人 人 男() 女(2)	2. 人 人 男(14) 女(6)	2. 人 人 男(180) 女(5)	2. 人 人 男(5) 女(1)	2. 人 人 男(9) 女(8)
3. 40才から 50才まで	3. 25才から 50才まで	3. 27才から 40才まで	3. 38才	3. 17才から 45才まで
4. 昭和43年から	4. 昭和42年から	4. 昭和43年から	4. 昭和42年から	4. 昭和42年から
5. 雑 役	5. 溶 接 工	5.	5. マーキン工	5. 組 立 工
6. イ ニ	6. ロ ハ ニ	6. ヘ	6. ヘ	6. ヘ
7. イ ロ ハ ヘ (講習を受け させ免許をと らせた)	7. イ ロ	7. イ ロ ニ	7. イ	7. イ
8. 船舶製造並修理 業	8. 船舶製造修理	8. 航空機修理	8. 各種産業機械 製作修理	8. アルミニウム 製品加工全般
9. 181人	9. 799人	9. 1,348人	9. 293人	9. 1,144人
10. 11%	10. 11%	10. 3%	10. 8%	10. 8%
11. 4	11. 2	11. 4	11. 2	11. 2

回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄
(1) 自動車部品の切削加工	(1) オートバイ用警告器の性能検査	(1) プレス金型の精密検査	(1) 鉄構鋼材の組立および取付作業。男子作業員の先手	(1) 光学硝子の不良部分をバーナーを使ってカットする
(2) B. B. 方式ロータリー専用機	(2) 低電圧電源 その他	(2) レイアウトマシン	(2)	(2)
(3) タップドリル	(3)	(3) ノギス、マイクロメーター	(3)	(3) バーナー、ハンマー
(4) 鍛造品	(4)	(4) 合金	(4)	(4)
(5) プレーキ部品	(5) オートバイ用警告器	(5) プレス金型	(5)	(5)
2. 人 人 男(39) 女(1)	2. 人 人 男(3) 女(1)	2. 人 人 男(7) 女(2)	2. 人 人 男(71) 女(3)	2. 人 人 男(8) 女(7)
3. 45才	3. 19才	3. 18才	3. 39才から 43才まで	3. 17才から 22才まで
4.	4. 昭和44年から	4. 昭和44年から	4. 昭和42年から	4. 昭和42年から
5. 多軸ロータリー工	5. 首 検 査	5. 検 査 工	5. 取 付	5. 火 割 検 査
6. ヘ イ	6. ヘ	6. ヘ	6. ホ ヘ	6. ヘ
7. イ	7. イ	7. ニ	7. イ ロ	7. イ
8. 輸送用機器製造	8. 自動車、オートバイ用警告器	8. トラック運転台及びプレス金型加工	8. 車両造修業	8. 光学硝子製造
9. 1,111人	9. 171人	9. 1,979人	9. 371人	9. 224人
10. 15%	10. 43%	10. 11%	10. 4%	10. 34%
11. 2	11. 2	11. 2	11. 2	11. 6

(そのほか女子労働者の就労が目新しい仕事つづき)

回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄
(1) 温度検出端の抵抗調整	(1) 延反された原反上のマーキング用紙線に合わせて裁断機を進行させ裁断を行なう	(1) パンを焼く作業	(1) 写真製版行程においてネガまたはボデのレイアウト作業	(1) (2)を運転操作して材料品を運搬する
(2) 電位差計及び氷点槽	(2) 従刃裁断機	(2) オープン	(2)	(2) 天井走行クレーン(3t)
(3)	(3)	(3)	(3) レイアウト用具	(3)
(4) 抵抗素子	(4) 婦人用編織物	(4)	(4) フィルム	(4) 特殊鋼
(5) 測温抵抗体	(5) 婦人既製服	(5)	(5) 製版焼付用フィルム	(5) 特殊鋼材料品
2 人 人 男(3) 女(1)	2 人 人 男(3) 女(2)	2 人 人 人 男(8) 女(1)	2 人 人 人 男() 女(2)	2 人 人 人 男(6) 女(1)
3. 20才から20才	3. 20才から21才まで	3. 40才	3. 17才	3. 42才
4. 昭和43年から	4. 昭和41年から	4. 昭和43年から	4. 昭和44年から	4. 昭和42年から
5. 調整工	5. 裁断係	5. 焼成係	5. レイアウト係	5. 起重機運転員
6. へ	6. イ ロ ニ	6. イ ロ ホ へ	6. ロ へ	6. イ へ
7. イ	7. へ(従来までは慣行的に男子の仕事とされてきたが内容を検討した所、そのまま十分女子にできることがわかった)	7. ロ ニ	7. ト(同業者において女子を就け好成績を上げていたのが現在教育見習中)	7. イ ロ
8. 工業計器製造	8. 既製服製造卸業	8. パン、和洋菓子製造	8. 金属印刷	8. 特殊鋼の鍛造加工
9. 105人	9. 181人	9. 367人	9. 61人	9. 177人
10. 46%	10. 88%	10. 57%	10. 23%	10. 5%
11. 2	11. 3	11. 6	11. 2	11. 4

回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄	回 答 欄
(1) 免許を必要としないクレーンの運転	(1) (2)を運転して資材、製品を運搬する。ただし運転のみ	(1) 製品を自動車得意先に配送する。	(1) 新薬開発業務	(1) 船内居住区のセメント舗装、タイル張付作業
(2) 走行クレーン	(2) 貨物自動車けん引車	(2) 自動車運転	(2)	(2)
(3)	(3)	(3)	(3)	(3) ゴム、ハケ、タイヤハンマー、キリ
(4)	(4)	(4)	(4)	(4) セメント、タイル
(5)	(5)	(5)	(5)	(5)
2 人 人 人 男(2) 女(2)	2 人 人 人 男(3) 女(4)	2 人 人 人 男(80) 女(3)	2 人 人 人 男(42) 女(5)	2 人 人 人 男(12) 女(4)
3. 35才から45才まで	3. 28才から45才まで	3. 18才から20才まで	3. 22才から23才まで	3. 45才から53才まで
4. 昭和40年から	4. 昭和42年から	4. 昭和44年から	4. 昭和44年から	4. 昭和41年から
5. クレーン運転手	5. 運搬工	5. 配送員	5. プロジェクト	5. セメントタイル職
6. へ	6. ロ	6. ロ へ	6. ロ ハ へ	6. イ ロ
7. イ ロ	7. へ(自動車運転教習所へ入れて普通車の免許をとらせた)	7. ホ	7. イ	7. イ ロ
8. 生コンクリートヒューム管製造	8. 鋼船製造修理	8. 製パン、製菓卸	8. 医薬品製造	8. 船舶建造改修
9. 135人	9. 799人	9. 487人	9. 198人	9. 5,499人
10. 6%	10. 11%	10. 49%	10. 52%	10. 1%
11. 2	11. 2	11. 3	11. 6	11. 1

(そのほか女子労働者の就労が目新しい仕事つづき)

回 答 欄	回 答 欄
(1) 輸入原料選別作業	(1) 鉄骨の部材をジョイントする時の型板の整理 (但し小型で軽量のものに限る)
(2) ベルトコンベアー	(2)
(3)	(3)
(4) 非鉄金属	(4) ガセットプレート
(5)	(5) 鉄骨
2. 人 人 男(40) 女(20)	2. 人 人 男() 女(1)
3. 30才から 45才まで	3. 37才
4. 昭和43年から	4.
5. 選 別 工	5.
6. へ	6. へ(可能性をみつけた)
7. ホ	7. ロ へ (剪断工場から持込まれる時は、大、小型状とも混合されているので、マーキング(男)が型板の符号と型状を合せて記入する。その記入されたものを同じ符号毎に選別する)
8. 銅、黄銅の棒線管製造	8. 鉄骨、ボルトリベットの製造
9. 513人	9. 110人
10. 6%	10. 3%
11. 4	11. 2

別表1 抽 出 率

産業中分類	規 模	500人以上	100~499人	30~99人
食 料 品 製 造 業		1/2	1/20	1/100
た ば こ 製 造 業		1	1	1
織 維 工 業		1/2	1/20	1/100
衣服・その他の繊維製品製造業		1	1/10	1/40
木 材・木 製 品 製 造 業		1	1/10	1/40
家 具・装 備 品 製 造 業		1	1/10	1/20
パルプ・紙・紙加工品製造業		1	1/10	1/40
出版、印刷、同関連産業		1	1/10	1/40
化 学 工 業		1/2	1/10	1/40
石油製品・石炭製品製造業		1	1/2	1/2
ゴ ム 製 品 製 造 業		1	1/10	1/10
皮 革・同 製 品 製 造 業		1	1/10	1/10
窯 業・土 石 製 品 製 造 業		1	1/10	1/40
鉄 鋼 製 造 業		1	1/10	1/10
非 鉄 金 属 製 造 業		1	1/2	1/10
金 属 製 品 製 造 業		1	1/10	1/40
機 械 製 造 業		1	1/10	1/40
電 気 機 械 器 具 製 造 業		1/2	1/10	1/20
輸 送 用 機 械 器 具 製 造 業		1	1/10	1/20
精 密 機 械 器 具 製 造 業		1	1/2	1/10
そ の 他 の 製 造 業		1	1/10	1/10

別表2 有効回収調査票数

産業中分類	規 模	500人以上	100~499人	30~99人	計
計		1229	1234	1048	3511
食 料 品 製 造 業		40	66	38	144
た ば こ 製 造 業		25	13	8	46
織 維 工 業		89	66	37	192
衣服・その他の繊維製品製造業		4	25	42	71
木 材・木 製 品 製 造 業		13	40	60	113
家 具・装 備 品 製 造 業		5	25	40	70
パルプ・紙・紙加工品製造業		59	52	50	161
出版、印刷、同関連産業		46	45	44	135
化 学 工 業		104	71	48	223
石油製品・石炭製品製造業		19	28	44	91
ゴ ム 製 品 製 造 業		48	21	26	95
皮 革・同 製 品 製 造 業		5	6	23	34
窯 業・土 石 製 品 製 造 業		72	77	53	202
鉄 鋼 製 造 業		84	60	76	220
非 鉄 金 属 製 造 業		66	93	46	205
金 属 製 品 製 造 業		35	98	69	202
機 械 製 造 業		151	124	76	351
電 気 機 械 器 具 製 造 業		146	83	80	309
輸 送 用 機 械 器 具 製 造 業		136	84	66	286
精 密 機 械 器 具 製 造 業		53	95	47	195
そ の 他 の 製 造 業		29	62	75	166

参考表1 産業別女子雇用者数の推移(40年~43年)

産 業	女子雇用者数		男女計に占める女子の割合	
	43 年	40 年	43 年	40 年
	千人	千人	%	%
製 造 業 計	3403	2996	31.7	30.5
食料品・たばこ製造業	440	349	45.1	41.0
織 維 工 業	1018	962	65.9	66.3
木材・木製品・家具製造業	177	151	25.7	23.2
パルプ・紙・紙加工品製造業	91	83	30.3	28.3
出版・印刷・同関連産業	121	98	23.3	21.5
化 学 工 業	237	211	25.6	26.9
窯業、土石製品製造業	142	121	27.3	26.7
鉄 鋼 製 造 業	66	48	10.1	7.8
非鉄金属製造業	31	25	17.2	15.7
金 属 製 品 製 造 業	150	125	19.2	17.3
機 械 製 造 業	133	137	15.1	15.2
電気機械器具製造業	397	347	36.4	36.1
輸送用機械器具製造業	112	91	12.3	11.2
精密機械器具製造業	89	82	36.6	35.7
その他の製造業	200	169	37.4	36.1

就業構造基本統計調査

参考表2 金属機械関係職業別女子雇用者数(40年)

職 業	女子雇用者数	男女計に占める女子の割合	職 業	女子雇用者数	男女計に占める女子の割合
	人	%		人	%
金属材料製造従事者	17800	4.8	め っ き 工	7500	15.6
鋳 物 工	8800	7.8	手 仕 上 工	7100	19.8
鍛 造 工	200	0.7	その他の金属加工従事者	97100	20.2
圧 延 工	500	1.1	機 械 組 立 工	14100	8.4
伸 線 工	1300	8.6	機 械 修 理 工	3000	1.9
熱 処 理 工	600	3.0	輸送用機械組立・修理従事者	7900	1.9
その他の金属材料製造従事者	5100	6.9	自 動 車 組 立 工	4000	8.6
金属加工および機械組立修理従事者	175600	9.1	自 動 車 修 理 工	600	0.2
金属切削工作機械工	19400	5.1	鉄道車両組立工、修理工	700	1.8
金 属 プ レ ス 工	18500	12.8	航空機組立工、修理工	300	3.1
金 属 溶 接 工	5300	1.9	自 転 車 組 立 修 理 工	700	6.8
ブリキ職、板金工	2200	1.9	その他の輸送用機械組立、修理従事者	1600	2.9
金 属 彫 刻 工	1400	17.7			

国勢調査

女子労働者の就労状況の変化に関する調査票

調査票 昭和44年7月10日

行政官庁承認番号 0000
昭和44年 8 月 31日まで

調査票番号	事業所番号	産業分類コード	地域番号	調査票番号

(記入要領)

1. 本票のついている欄は記入しないでください。
2. 質問1~4について該当する事項の番号を○で囲み、必要事項を記入してください。

労働省婦人少年局

はじめに次の欄に記入してください。

事業所の名称	主たる製品又は事業内容	記入者
所在地	電話()局 番	所属部署
現在の常用労働者数 昭和44年5月末日現在	うち生産労働者数 男 女 計	3年間の労働者数 昭和44年5月末日現在 計 男 女 人

質問1 貴事業所において従来男子が従っていた仕事で、この3年ぐらいの間に女子も従うようになった仕事がありますか。

1. あり

2. ない

「あり」場合はその仕事について記入欄に記入してください。そのような仕事がない場合は、
仕事の内容が異なるごとに随時欄をひとつづつ用いて記入してください。

質問事項	回答欄	回答欄	回答欄	回答欄
1. それはどんな仕事ですか。 ○ 右の(1)~(10)について記入してください。 ○ (1)~(10)は、その仕事に直接関係のあるものを記入してください。 ○ 事務部門等の仕事で(1)~(10)が必要ないときは、その欄を無視して仕事の内容を記入してください。	(1) 仕事の内容 (2) 機械、装置名 (3) 材料名、部品名 (4) 材料名、部品名 (5) 製造名	(1) 男() 女() (2) 男() 女() (3) 男() 女() (4) 男() 女() (5) 男() 女()	(1) 男() 女() (2) 男() 女() (3) 男() 女() (4) 男() 女() (5) 男() 女()	(1) 男() 女() (2) 男() 女() (3) 男() 女() (4) 男() 女() (5) 男() 女()
2. 現在その仕事に従っている労働者は何人ですか。	男() 女()	男() 女()	男() 女()	男() 女()
3. 現在その仕事に従っている女子の年齢は何歳ですか。 (最低年齢と最高年齢を記入してください)	1. ()才から ()才まで	2. ()才から ()才まで	3. ()才から ()才まで	4. ()才から ()才まで
4. その仕事に女子を雇ったのはいつ頃からですか。	昭和()年から	昭和()年から	昭和()年から	昭和()年から
5. その仕事に従っている労働者は貴事業所ではどういふ職種で呼ばれていますか。 (最低年齢と最高年齢を記入してください)	1. ()才から ()才まで	2. ()才から ()才まで	3. ()才から ()才まで	4. ()才から ()才まで
6. その仕事に女子を雇った理由は何ですか。 次の中から該当するものを全部記入し、その番号を回答欄に記入してください。 「その他」の場合は内容を記入してください。	1. 最近女子が能力的に向上していることがわかった 2. 男子が採用できないからその代替として 3. 女子の方が賃金が安いから 4. 生産方式の改良、機械化、工具の改良などによって女子でも従うようになったから 5. 作業内容を分化して男子の仕事の一部を女子が従うように整理したから 6. 試験的に採用してみた 7. その他	1. 最近女子が能力的に向上していることがわかった 2. 男子が採用できないからその代替として 3. 女子の方が賃金が安いから 4. 生産方式の改良、機械化、工具の改良などによって女子でも従うようになったから 5. 作業内容を分化して男子の仕事の一部を女子が従うように整理したから 6. 試験的に採用してみた 7. その他	1. 最近女子が能力的に向上していることがわかった 2. 男子が採用できないからその代替として 3. 女子の方が賃金が安いから 4. 生産方式の改良、機械化、工具の改良などによって女子でも従うようになったから 5. 作業内容を分化して男子の仕事の一部を女子が従うように整理したから 6. 試験的に採用してみた 7. その他	1. 最近女子が能力的に向上していることがわかった 2. 男子が採用できないからその代替として 3. 女子の方が賃金が安いから 4. 生産方式の改良、機械化、工具の改良などによって女子でも従うようになったから 5. 作業内容を分化して男子の仕事の一部を女子が従うように整理したから 6. 試験的に採用してみた 7. その他
7. その仕事に女子を雇う際にどんな理由をとりましたか。 次の中から該当するものを全部記入し、その番号を回答欄に記入してください。 「その他」の場合は内容を記入してください。	1. 教育訓練がなされて女子の能力が向上した 2. 安全設備が充実した 3. 賃金を向上させた 4. 作業時間を男子が従っていた場合とは異なった 5. その他	1. 教育訓練がなされて女子の能力が向上した 2. 安全設備が充実した 3. 賃金を向上させた 4. 作業時間を男子が従っていた場合とは異なった 5. その他	1. 教育訓練がなされて女子の能力が向上した 2. 安全設備が充実した 3. 賃金を向上させた 4. 作業時間を男子が従っていた場合とは異なった 5. その他	1. 教育訓練がなされて女子の能力が向上した 2. 安全設備が充実した 3. 賃金を向上させた 4. 作業時間を男子が従っていた場合とは異なった 5. その他

質問2 貴事業所において現在男子が従っている仕事で、今後女子に引き継がれる予定のものがありますか。

1. あり

2. ない

質問3 世間一般にこれまでなかったような新しい職種と思われるもので、女子が従っている職種が貴事業所にありますか。
「あり」場合は()内に職種名を記入してください。

1. あり

2. ない

質問4 貴事業所では女子労働者の活用についてどのようにお考えですか。
(次の中から該当するものをひとつまたはふついで記入してください)

1. 女子に教育訓練や昇進の機会を積極的に与えて、その能力を活用する方法である
2. 単純、軽作業にはほとんど女子を雇用する方針である
3. 世から男女区別なく採用方針できたので特に考えていない
4. 物理的に女子に無理な作業が大部分なので考えられない
5. 女子には全然関係ない

調査票記入上の注意

- 事業所は、原則として場所が異なると、また経営者が異なるとに別個のものとなります。すなわち、同じ名称で呼ばれていても別れた場所にある工場や出張所は別列され、したがって同一企業であっても、本社、支社、工場等はそれぞれ別個の事業所となります。
- 常用労働者とは、つぎのいずれかに該当するものをいいます。①期間を定めて雇われているもの、②1ヵ月をこえる期間を定めて雇われているもの、③1ヵ月以下の期間を定めて雇われているもの、または日々雇われているものうち、調査対象期間(以て2ヵ月の各月にそれぞれ15日以上または調査期日以前4ヵ月に通算して50日以上雇われているもの)。
- 調査事項については、事務部門、生産部門等の別なく、また、身分、勤務形態(パートタイマーかフルタイマーか)等にかかわらず記入してください。
- 質問1でかたづけられているこの3年間に生じた変化には、全員男子から女子にかえた場合はもちろん、次のようなものも含まれます。
 - それまで全員男子が勤めていた仕事に、1人以上継続的に女子を就けた場合。
 - それまで部分的に女子も1名程度まじっていたがほとんど男子が勤めていた仕事で、全員女子にかえたか、女子を若くして雇った場合。
 - 男子のやっていた仕事の一部をわけて女子にやらせるようになった場合。
 - それまで男子しか勤めていなかった後継(係長、主任等)に女子が就いた場合。(この例については職種名の欄に役職名もあわせて記入してください。)
- 質問の1の「ある」場合の記入の仕方は下の記入例を参照してください。
- この調査票は、記入後、7月10日までに同封の封筒により婦人少年室へご返送くださるようお願いいたします。

記入例

補遺用紙(質問1の回答欄が足りないときはこれを切りとってお使いください)

問 答 例	問 答 例	問 答 例	問 答 例
(1) 1人で仕事を片手 作してブロックの 組立てをする。但し 試験機のみ。	(1) モーターボートに エンジン・ピッ クアップ等の部品 を取り付け組立 を立てる	(2) 上町の指示の下に 生産予定表、作業 量計画をつくる。 それにもとづいて 商品の受払いを切 り出す	(3) 手算にもとづいて 四半期別の支出時 間を立寄する 各部門の支出請求 を核対照査して支 出の手続きをとる
(4) 試験機を組立 する	(5) はんこを打たせ る	(6) 組立機を組立 する	(7) 組立機を組立 する
男(25)女(6)	男(25)女(50)	男(25)女(1)	男()女()
(30)から (40)まで	(15)から (30)まで	(30)から (40)まで	(40)から (50)まで
昭和(41)年から	昭和(41)年から	昭和(40)年から	昭和(40)年から
生産作業員	組立工	現場工務員	主任主任
ハ ヘ	ハ ヘ	ハ ヘ	ハ ヘ ト、(たまたま有 能な女子社員が いた)
ハ ヘ	ハ ヘ ト、(たまたま有 能な女子社員が いた)	ハ ヘ	ハ ヘ

昭和45年 6 月 15 日 印刷
昭和45年 6 月 30 日 発行

女子労働者の就労状況の変化に関する調査 —1969年—

編集兼 発行人 労働省婦人少年局
東京都千代田区大手町1-3-1
印刷 株式会社 橋本活版母型製造所印刷部
東京都新宿区柳町24